

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-107)、
廃棄物管理施設(82)、MOX燃料加工施設(2-66))」

2. 日時:令和5年10月11日(水) 10時00分~12時45分
14時30分~15時00分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他7名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年10月10日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)について

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

・設工認申請の対応状況のうち耐震については、地震観測記録を用いた検討における検討プロセスを明らかにするなどして、今回得られた知見の技術的な位置付けや意味合いが明確になるよう整理して説明する。

・設工認申請の対応状況のうち構造設計等については、説明する範囲など全体像を整理して説明する。再処理施設及び廃棄物管理施設の申請対象設備の類型等については、説明する単位毎に対象設備に対する説明内容を明確にし、それぞれの関係性を整理して説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年10月10日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しました。
0:00:02	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設 廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料 加工施設の設工認申請について、
0:00:19	ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:23	浜崎規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からハバサキ オノヤマグチ。
0:00:32	と他WEBから、
0:00:35	コサクキシノヨコヤマオカオオハシフジワラアライカミデ。
0:00:43	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介をし、
0:00:48	ヤノ説明。
0:00:53	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:56	エミ本連年側の出席者紹介いたします。
0:01:00	エステーリングチームより、ケツクノモト。
0:01:04	イシハラ。
0:01:05	六ヶ所側より、ハセガワイシグロタカヤ。
0:01:10	あとMOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:15	本日も確認いただきます資料でございますけれども、昨日ご提出差し 上げました、審査会后資料、こちらの方のご確認をいただきたいと思 います。
0:01:25	それでは、説明の方開始させていただきます。よろしく願いいたしま す。
0:01:32	日本原燃の郷でございます。それではですね、
0:01:36	当審査会合用資料として前回の御説明からの変更したところというこ ろで、
0:01:43	立ち上げたいと思います。
0:01:46	江藤さんの6ページからでございます。まず導入の部分ですね、こちら は距離の方とですねちょっと顔つきだけで、
0:01:57	けれども、あの方が整合とりまして、前回審査会合における説明資 料、それから今回の審査会合での説明事項を、今後の説明と、こういう 構成に

0:02:07	分けて書いてございます。それが概況でございます。中身的には前回審査会合までのところで、1 からそういう基盤の整備等を期するというところで、一つ一つデータを積み上げていくと。
0:02:22	ということとそれから大地震をいただきながらやっていると。
0:02:26	みたいなところと、前回までに、
0:02:30	教授会における地震観測記録を用いた検討内容を、ケースについては説明していると、それから表層の物性等の影響で基づく成長の設計内容、それから協賛
0:02:41	計画で説明してきたという経緯を述べてございます。
0:02:45	今回はですねこのハウジョウで検討を進めているところではあるけれども、前回会合からの検討状況としての報告として、その岩盤部コウノ建設業者のうちの全基盤での観測記録の確認と、
0:02:58	それからに対する地震観測記録を用いた検討ということで、前回ちょっと東側にはやりまずとだけ書いていたんですけども、ニシダ指標を並べた、
0:03:09	今の状態の分析というのも、冒頭も加えますのでその旨をここで記載してございます。
0:03:16	これは岩盤の減衰要素 1 日側のところを、の検討それから追加協賛の結果を元に説明しても一番説明されること、ちょっとこういう概略がわかるような記載を追加するということです。
0:03:30	7 ページ、8 ページのところはですね、こちらは本日の検討内容について書いてるところでございまして、そういう今ちょっとですね等を、ここを書き足らずになっておりますが例えば 8 ページのところだと、
0:03:46	観測記録を用いた検討の中で、
0:03:49	ございます。
0:03:51	特徴かって聞いてから、それから伝達関数による減衰競争及び減価償却示し確認それから教育検討と、こういう順番に進んでいくんですが、
0:04:01	観測記録上確認これは西平式をすべてに対して行っておって、今回のご説明といたしましては、その次の連続観測による減衰定数評価シミュレーション、それから新屋課長はこれを、
0:04:16	ヒガシのご報告ですので、ちょっとその対象をここにちょっと追記を、ちょっと漏れておりましたんで追記したいというふうに考えてございます。
0:04:27	で、その現場でいきますと、まず 9 ページはですね危険観測記録の特徴の確認ということで、2-9 オオヒガシをですね、こう並べまして、
0:04:38	この時刻歴は、葉葉がですねそれぞれ横並びで見れるような形となる。

0:04:46	中央地盤は深部から地表満期を撃破経過、たまたま伝播してるに対して西側東側というのが、このですね表彰では子供は、
0:04:59	うちはそれだけであらわれてるといったような状態であるということで、都心部と浅部で1.8%の形状が異なるといったような傾向があるということに記載してございます。
0:05:10	で、この傾向が、このページではそういう傾向があるということだけを申し上げまして、この要因についてはこの次のページ、
0:05:21	10ページで考察いたしますというのを構成してございます。
0:05:25	10ページ目ではですね、
0:05:29	このですね、
0:05:30	地質構造図を今度はアノなるなってその実の
0:05:38	サイン差分といいますか、どういうところが違うのかということの事実関係を伸びてございます。で、そういう観点ではですね、まず1番目にはですね、観測記録の信頼性これをトップに持ってきて、
0:05:53	先ほどの時刻歴案につきましては、近畿各計器校正を行っていて、確立されていないこと、それから行事ビジョンによる影響も確認して、観測局に対して義務小さいレベルとまとまっています。
0:06:06	ということで、観測記録自体は信頼という分析できると判断したという意図でこの事実関係を述べてございます。
0:06:12	で、その次は観測井域における機器構造及び速度構造の確認ということで、
0:06:18	ここで、東川三平中央のそれぞれの特徴についてまとめているところでございまして、ちょっとこれ悩んだんですけれどもやはり御説明としては、
0:06:30	東側西側の得意なところをご説明差し上げて、それに非くらべて、前回の説明の9オオバと、ちょっとそういうふうな並びにしておりましてサノアノ。
0:06:41	実はですね、北川ウエダトミイタとヒガシ9本、ニシカワもこの順番にありますから、そこが混乱しないような発揮というふうなことを考えてちょっとわかりやすいがこうかなというような配置で持ってきたところでございます。
0:06:56	で、東側、2番の特徴といたしまして、このですね、表層部分の
0:07:05	蛋白表層部分の境界である、モリタの方に大きな速度コントラストがある。

0:07:11	いうところ、それから岩盤内において、その速度コントラスト留意しておいてぜひ加茂アノ浅部においても、このですね高速度層が分布するといったようなところの特許書いてございます。
0:07:25	西側のところにつきましても、これですね、岩盤部と表層部分の境界である、砂子又下部層及び加算株とか谷アトベ
0:07:36	イソダ 1 が比較的大きい。
0:07:38	いうことを記載してございまして、中央基盤はそれに比べてですね、岩盤内でのコントラストがヒガシ学校聞いたと。
0:07:49	いうこと、それから、頑張っって表層の共済のコンプライアンスとが、これもヒアリングを実施したいという企画した形での記載に今日はしてございます。
0:08:01	で、ここからその検討ではですね、この地震観測記録による検討を行っていくわけですけれども、この地質構造及び速度構造の特徴が、この検討に与えている影響をですね、
0:08:15	それぞれ反映してやって参りますということで、まずこれを前提として、この後の検討をやって参りますというこういう構造にしております。
0:08:28	次の 11 ページ目からがですねヒガシが 2 番における呉計算質問で一番ということで、そこからですね起振電力会社による減衰強制及び速度を合わせ、
0:08:39	観測記録のシミュレーション解析による確認と、
0:08:42	いうことで、記載してございまして、ここ大きく東側地盤の、この予算に大井ですねこの速度層を、の高速度層の中で、境界を設けることにしたと、これコールセンターの
0:08:57	みたいな内容でございますけれどもその内容をここで記載いたしまして、今日について、この
0:09:04	宮川高井ヤマガタそれから平田による贈呈を、を実施いたしまして、その同定の結果がこうであったと。
0:09:12	いうことを述べてございます。
0:09:14	で、提供 3 ページで非ミュレーションを、それに対してかけた結果、
0:09:19	いうので、と記載してございまして、ここではですねこの結果に対しては、李アガツマ新名さん及び周波数依存座標検層いずれにおいても、
0:09:30	シュウシャ解析が観測記録を再現することを確認したとあまりどれがどうか、ということ言わずに、再現が見られたと、いうことを述べるだけにしてございます。

0:09:44	14 ページ目からが次は開発本部の検討でございまして、ここはですね、先ほどの地盤の応用差異の分析に戻りまして、ヒガシが一番、
0:09:55	続きましては、表層での重複反射の影響もあって、このですね、事象におきましては、この地震は干渉法による算定が困難であると。
0:10:08	いうことの記載をしているところでございます。
0:10:13	で、15 ページ、
0:10:15	上のところはこれ、あれですね、江藤アカシ加来のところの、何て言いますか、スケジュールを大きくしてちょっと移らさしていただきまして 16 ページ目、
0:10:28	次の話へと明示している、観測孔がどこであるかと、というようなところがわかるように、16 ページ上のところ 5、1610 ページに観測記録、観測研究をしたいということで、対応がわかるように追記したと。
0:10:43	いうところでございます。
0:10:45	で、18 ページにですね、今後対応ということで 123 で最初のところ年明け以降っていうのは、
0:10:58	後後ですね、20 ページ以降参考 1 という形で、霜鳥八景の中央ヒガシニシムラでつけてます。
0:11:09	それから、33 ページから参考で伝達関数の検討結果ということでこちらは中央とヒガシについて、
0:11:18	いうところでございます。それから指名条件が参考 3 ということで、37 ページ目から、こちら中央とヒガシと、
0:11:29	ございまして、これは引き続き次回ニシカワについては、示す予定という人でここは、
0:11:37	一番数以上でございます。
0:11:40	既設山内ですそれは耐震の部分について
0:11:50	はい。規制庁亀井手です。
0:11:55	何ページから以降から私が話をしたかったのは、
0:12:03	9 ページ 10 ページ 11 ページ辺りですけど、それより前に何かあればお願いします。特になければ、
0:12:13	今回、特に話を聞いたかったのが、中央地盤は 1000 円、先月の会合で、前回の会合で話が聞けましたと。
0:12:24	東側は少し時間がかかって、今回だっていうことなんですね。
0:12:31	やった結果っていうのは、12 ページとかにもあるんですけど、
0:12:39	12 ページの
0:12:40	図 9 のところで、赤線について書いてある、速度境界だったり、

0:12:49	青線で書いてある速度だったりってものを、
0:12:54	見定める作業があったと。中央の場合は、黒でよかったよ、黒野初期値でいい線だったものが今回この部分が時間かかったってことだと思うんですけど、
0:13:10	実際、どういう作業をされたのかっていう説明が特にないので、ちょっとそのあたりまず解説していただけますか。
0:13:21	兼任ノモでございます。この速度境界が、このアベね高速度層の中に一つ設けるべきじゃないかということでこれ同定してるわけです。
0:13:34	けれども、まずあれですね素直に、ピース計測結果に基づいて伝達関数を見たときに、どうもアイザワ類と、それはなぜなのだろうかという検討をしたところ高速度層の中に、
0:13:47	やはりコウノイセ地質図を採集したところをその境界を設けるのが、適切なんじゃなからうかという一つの前の総括を基にその速度境界をこの中に、
0:13:59	設定して同定のパラメーターに加えて、行ったところ、比較的再現がよく伝達関数が良くなったというところで、これがおそらく最もらしいものであるという、そういう思考の過程を踏んだと。
0:14:12	ということではございまして、それをちょっとそうですね順を追ったような説明になっていないというのは、
0:14:20	ですね一応言葉あれですね、お話ししては
0:14:27	ウタつもりで渡して、11 ページのところ、
0:14:31	まず、矢羽根一つ目で、PS検層結果そのままを使うというのがデフォルトであって、テーマの二つ目で、東浦島については、伝達関数が観測記録に適合しておらずと。
0:14:44	ということで、この地盤の関係を手に反映することが必要と考えた。
0:14:49	矢羽根三つ目でこの度層厚が大きくて、保守費用が大きい、18.68 から -115.73 の層について、この
0:15:01	ですね、分割する形で同定をしますということで、一応そういう順序で書いておるのが我々のこの実際のイトウでございます。以上でございます。
0:15:17	はい、規制庁カミデわかりました。一応 11 ページにそのありさまが書いてあって、
0:15:27	うん。
0:15:28	その辺はあれから中央との差分みたいな形でもう少し、
0:15:34	中央はこれであったんだけど東側は、はいませんでしたと。

0:15:39	地下構造を詳細に分析したってということと、
0:15:47	12 ページの図 9、その赤線なり、青線にいたるところ、ここはどうなってるのか、これは最後の矢羽根で説明してるってことですか。
0:16:01	そうですね最後の矢羽根握っているところは、赤線をですね、同定パラメーターに加えましたということを書いて、
0:16:12	青線が投票するのはその同定も結果ですから 12 ページに初めて出てくるとそういう構図になってるかなと思っております。
0:16:23	規制庁カミデです。
0:16:26	12 ページの図 9 を、
0:16:29	11 ページにあった方が逆に説明しやすいような気もするんですけど、そうでもないですかね。
0:16:38	えーとですね。そうですね。
0:16:42	この前の方でございます。この青線は、
0:16:48	そうでの結果なんですね。
0:16:51	この下、
0:16:53	下にたどり着く前段で、図中の伝達関数での間、
0:17:01	いいよねと、いうことを確認してるということではないそうですね。ちょっと痛しかゆしとあるんですが、11 ページに行ったら今度また 12 ページがちょっと説明しづらくなるかなと。
0:17:15	いうふうに思いますけれども、両方に確固と生きるのかな。
0:17:21	そうですね。
0:17:23	規制庁カミデ両方でもよくてもともと前回のヒアリングでお伝えしたイメージは 11 ページの右側ってこういう初期モデルですよ。だからその結果載せてくださいって言ってたんで、11 ページの隣に結局、
0:17:39	こうなりました。
0:17:41	こうなりましたってということと、こういうパラメーターを、こうやって設定して一旦だっというところが説明して欲しいと言っていたので、
0:17:52	どっちかっていうと 11 ページに設定後の結果があり、
0:17:58	ていう感じですね。
0:18:00	承知いたしました。それでは 11 ページに、あれですね、12 ページの II 級に相当する、
0:18:07	アフターのものをちょっと上書きするのかこれを載せるのかちょっとそこはわかりやすいように検討させていただきたいと思っておりますけれども、上級は等級で、

0:18:17	12 ページ残る形で再掲と、ちょっとそんな形で記載を工夫したいと思います。
0:18:25	はい。規制庁亀井です。あとですね
0:18:34	11 ページでいうと、
0:18:42	ちょっと言葉がどこにあったかあれなんですけど要は東側地盤の特徴を、
0:18:48	ていう、いうことを一応ここで話をしていると思うんですけど。
0:18:57	それを
0:18:59	図 9 の赤線なり青線の一致を見定めるにあたって、どう反映してるのかがよくわからなくて
0:19:07	ある程度特徴から当たりをつけてやったのか、それとももうとにかくパラスタでやった結果、図 9 のアカセなり青線が出てきたのかっていうとどっちなんですか。
0:19:20	機能でございます。これはですね、11 ページ目の図 7 の緑線が、これがですね基数から見るところの、
0:19:30	協会けんぽにあたるかなというあたり付けの何ですかね、江藤目標といえますか、この近辺で、その境界があるんじゃないかという辺りつけた上で、具体的な数値はですね同定解析で求めた結果が、
0:19:46	12 ページの赤点線だと、というような形ですので、それは規制庁関係です。まずは赤線の話をしてしまおうでアカセどうやって決めたかっていうと 11 ページの緑線、
0:20:00	とりあえず一旦標準ケースでやってみただけで合いがよくないなってどうしてかなっていう見たときに、おそらくこの断層の経過っていうところ。
0:20:10	あたりに速度境界の切り換えがあるんじゃないかと推察してその辺で、同定してみましたということですか。
0:20:18	そうですね。はい。おっしゃる通りです。
0:20:22	はい。規制庁加来です。その辺がもうちょっとわかるとイイダ、要は何も説明が、たまたまこれやりましたっていうのが、二名で技術的に、この辺だろうという辺りづけをした結果うまくいきましたっていうことで、
0:20:39	説明してもらえばと思います。
0:20:41	その上で今度、Ⅱ級の青線の 1 速度はどうですか。
0:20:48	青線の行き速度は、これは、同定パラメーターとして、さっきのこの赤点線速度境界それから減衰定数を、
0:20:58	これを同定のパラメータとして、伝達関数に、が合うようにということで同定した結果形が、この青って、青線だと。

0:21:11	ということです。青線はですね、アウトプットです。
0:21:16	はい。規制庁亀井です。なんで順番としてはまずは合いうまくいきませんでした。よくよく見てみると速度境界がこの辺にあるんじゃないかというので、大体の赤線の位置を決めます。
0:21:29	そのあと青はもうパラスターですと、プラマイどれぐらいの幅でパラスタした結果今回これでうまくいきましたっていうことですか。
0:21:41	はい。そうですね。そのパラスターした結果、この青のアノ線、
0:21:48	の、そうですね。はい。こここれがアウトプットとして、結果として合うようになりましたということです。
0:22:19	規制庁カミデちょっと音声聞き取りにかかったんですけど。そう。基本的にはイエスっていう答えをもらっても駄目なんですか。イエスですはい。
0:22:34	アベノモトSESでございます。
0:22:41	これらしい。
0:22:43	はい。規制庁神です。なかなかちょっと通信が厳しそうですが、あとだから、
0:22:54	うん。
0:22:55	峰さんのマイクが切れて、
0:23:02	規制庁ハバサキです。神谷さん、音声、
0:23:05	取れてますか。
0:23:08	上出さんの声が聞こえないんですが、
0:23:20	規制庁岡崎ですちょっと上出さんの音声が、
0:23:25	切れてるようですけれども、
0:23:46	と規制庁カミデさん、音声側ですか。
0:23:50	はい。今、両方です。
0:23:56	はい。規制庁上出です。じゃあ、とりあえずさっきのほぼいいですということなんでだからその辺の検討の在り様も書いて欲しいということと、あとは
0:24:08	外部からも、そういう支援を受けた結果そういうふうに、アドバイスを受けてやってますみたいなことが、11 ページにわかるように書いてもらえると
0:24:22	この1ヶ月何、1ヶ月、数ヶ月何やってたのかわかると思うんですけど、大丈夫ですかね。
0:24:29	池野でございます。承知いたしました。今の既存のあり様がもう少しわかるようにということこれ、いただいているということも当検討会社の中に記載するというのでこれ追記したいと思います。以上でございます。

0:24:48	はい。規制庁カミデです。
0:24:52	そうですね。とりあえず、地盤のところ、私の方は以上です。
0:24:57	はい規制庁ハバサキちょっと同じ趣旨のお話になりますので私の方から、
0:25:02	まず今ノーですね先ほどの野口さんの説明聞いてて思ったのはまず9ページ10ページっていうのは、まさに今回のヒガシ側の説明する上での伏線なんですね。
0:25:14	東側にはちょっと特徴的な傾向があるので、それをまず地震観測記録1を見ると、その要素が見えますねと。
0:25:22	さらに、その直下の地盤構成を見ると、説明の根拠となるような状況もわかると。
0:25:30	いうことを、先ほどの説明の中ではさらっとその東側では、直下にその高速度層が上盤側にある、その境界位置というのをちらっと言われてるんですけども、
0:25:41	それはあくまでも、その次の11ページ以降に繋がる話なので、そこでまずインプットとしてですね、皆さんに伝えて、説明してもらいたいというのが一つです。で、
0:25:53	その伏線を受けて、では東側11ページの説明に至って、
0:25:58	先ほど言われているように、矢羽根に一応、この1ヶ月間の作業の内容というのわかるんですけども、
0:26:05	もう少しやはりこういう形で苦勞、苦勞しましたといいますか汗かきましたと言いますね。そういった趣旨が、矢羽根1234ですね。はい。
0:26:15	実際これ小村あるわけなんですね生産されてるわけなんで、そこを強調してといいますか、丁寧な説明をしていただければというふうに思います。
0:26:25	で、11ページに最終的な地層構造ですとかですね、ベースの分布だとかを入れていただくっていうのは、確かにわかりやすく、詳細の結果が、
0:26:37	検討結果が12ページ13ページヒガシ側はこういう結果に歳出的に今現時点としてはなりましたよと。
0:26:44	というのが今回の大きな、まず伝達関数のところではですね、一つのポイントになりますので、ちょっとそこメリハリをつけた説明が必要かなというふうに感じました。
0:26:56	それで、既設ヤマザキですけど、ちょっと細かな話になるんですけども、

0:27:02	11 ページのですね、最初のごめんなさい、2 番目の山出で、
0:27:07	地盤の一次固有周期に近い周期体において観測記録に適合しておらずという表現があるんですね。
0:27:16	これ耐震建物 08 の資料にこういう表記がなくて多分 0.4 秒ぐらいの話だと思うんですけども、
0:27:26	要は耐ええっと、これはまず正確な表、表現なんですけど、一次固有周期に近いっていうのは、
0:27:36	人のことでございます。すいません六ヶ所側からお答えできますか。
0:27:45	一次固有周期という言い方がこれで一般的なのかただし、正しいのかという。そういうお問いだとこのヒガシが規制庁はですねヒガシ側の一次固有周期ってのは 0.
0:28:00	ごめんなさい。4 で使っていないのか。
0:28:02	周期っていうのは、
0:28:04	すみません六ヶ所は日本原燃山口です。ここの記載についてなんですけども、ハバサキさんおっしゃる通り東側の以前の検討結果っていうところで、地盤の
0:28:14	1 時 0.4 秒あたりだったというふうに記憶しております。そこが地盤の一次周期なのかっていうとちょっと内容を確認させていただきたいと考えておりますが、地盤の主要周期というところで、一次二次っていうところのピークの山がありますのでそこを、
0:28:30	しない部分がありましたというところを説明したい内容になっております。以上です。
0:28:35	はい、瀬崎です。補足説明の方だと、ここは本来山になるべきところが谷なってみたいな表現になってるんで、あそこ専門、正確な記載の方をしてください。
0:28:50	はい、日本原燃山口です。承知いたしました。ちょっと補足説明資料の記載内容踏まえてちょっとこの起点に直させていただきたいと思ます。
0:28:58	規制庁の長谷川ですけれども、今のところでもなく、
0:29:02	私はそこも、
0:29:04	何かあれだったんだけど、伝達関数が観測記録に適合していないっていうのは、意味がよくわからない。
0:29:12	韓国、
0:29:15	適合するのもおかしいんですけど、これは何を。
0:29:19	意味してるんだらうっていう。

0:29:21	うん。
0:29:23	何を伝えたいんだろうと。要は、伝達関数が観測記録、適合ということはあっているとかってないということで使ったんだろうけれども、それでおな言葉は直せばいいんだけど、
0:29:36	合わせにいってる。
0:29:38	何を支出してそれが一次固有周期。
0:29:43	に近いところで合っていないとか、ここは今、合っていると合っていないとかっていう話を何かするんだけど、
0:29:53	観測記録上作業的には下がってるわけだね。観測に基づく伝達関数に基準があっていきっていくのが今やろうとしていることなんだと。
0:30:08	いう認識で、それをちゃんと不体现できる地盤モデルを設定するのが最終最終的な目標なので、それが適合するような下衆定数なり、
0:30:20	この下ですね地盤の構造の高速度境界今回パラメータとして入れましたけれども、これを入れることで、観測記録をとにかく再現するように、これはやろうとしたということなんだというふうに、
0:30:34	うん。規制庁浜崎ですけれども六ヶ所の意見も聞きたいんですけども。
0:30:40	今ここでやってることっていうのは、観測記録に基づくロック、組み合わせの伝達関数をもうそ鍋島して、その平均の目的関数って言われているもの。
0:30:54	それに、それをターゲットとする伝達関数を地盤モデルを使って計算をして、残差が一番小さいものを、
0:31:03	の、地盤モデルですね、Vsであったり、減衰を設定しますという作業をされてると思うんで、いきなり観測記録に合わせる。
0:31:15	最初、大きな意味ではそうかもしれませんが、
0:31:18	やはりきちんとそういったプロセスっていうか、単せなんですかね。
0:31:23	作業をしている内容を説明されないと、何か結果、観測記録に何かあればいいんじゃないの的なですね。
0:31:31	いうふうにとられるんで、同店同定作業のやり方っていうものをきちんと説明してもらえればと思います。はい。はい。
0:31:40	規制庁の須賀ですけど、これを書くと、
0:31:42	ほかにもいっぱいやってるんだよね。
0:31:45	チューニングっていう世界では、うん。
0:31:48	はい。
0:31:50	なので、はい。

0:31:53	なんなんだけど、だからこれ、それで、この言葉が気になってるのは、当初最後の伝達関数が、観測記録の
0:32:04	うん、上回ってるとか下回ってるってことを、
0:32:08	何週間か前はねそういうことまでやってたんだよね。
0:32:13	シミュレーション結果としての加速度スペクトルは上回るたまるって話。はい。そうそうそうだね、この時点でうん。そこまで。
0:32:23	何かっていう、多分、形的に合わせにいつてるだけなんじゃないかっていうたら、
0:32:30	いうところでそういう言葉を外したんだけど多分これは、
0:32:34	これもその一部のやつが残っていたのかとかっていうふうにも思ったんで、
0:32:41	この、ここだけこうあれなんだけど、この流れね、全体の流れの中の、この文章がどうなんだろうっていうそういうことで、
0:32:50	で、ちょっと浜崎さんがいろいろ言っちゃったんでね、流してもいいんだけど、
0:32:58	少なくともいろいろ適合とか、
0:33:01	何となくここは引かかっちゃった場所ではない。そうですね。適合させるみたいなそういうふうな、
0:33:13	そうそう、そういう場がちょっとよくないんで、
0:33:17	全体的にこのストーリー上のいろんな言葉遣い、昨日もちょっと、
0:33:22	言ったんだけど、
0:33:26	何だっけ、検証とかね。だから、なんかね、いろんなそういうのが、いろんなところに残ってるんじゃないかっていうのがもうオクの中の潜在、最初っからあるんだよね。だからちょっと、
0:33:40	呉だった。
0:33:41	言い方しちゃってるのかもしれないけれども、ちょっと、
0:33:46	気になりました。
0:33:48	ちょっとここはすみません今おっしゃっていただいたようにその観測記録の同定作業を、ちょっと少し丁寧に書き下してで、
0:33:58	ここ、観測記録をターゲットに、
0:34:05	どういうふうに
0:34:09	刀禰健康介護に変換するっていう言い方で、ターゲットスペクトルだよ
0:34:17	ね。 誤解のないように、はい。少しちょっとご趣旨わかりましたんで、文言よくちょっと見たいと思います。はい、そうです。

0:34:29	規制庁浜崎です同定作業という科学的なプロセスをきちんと説明してもらえればと思います。
0:34:36	はい、北崎ですあと 11 ページでちょっと気になってるのがですね最初の矢羽根でGL-18.68 と書いてあるんですけどこの図との対応、これずっとこれTMSLだと思うんで、ちょっとそこを、
0:34:49	わかりやすく、図なり文書で注記なりですね入れてもらえればと思います。
0:34:56	出野でございます失礼いたしました。対応いたします。
0:35:01	施設ヤマザキです。私の方から、もう 1 件だけごめんなさい。12 ページの伝達関数の枠をはめて、線があるじゃないですか。で、
0:35:13	これは意味、意味があるもの。
0:35:16	かもしれないんですけども、まずこの意味するものは、
0:35:20	説明してもらえますか。
0:35:22	はい、萩野でございます。すいません六ヶ所側からお答えいただけますか。
0:35:28	はい、六ヶ所日本ヤノヤマグチです。この頭脳は、何だ、上の枠ではみ出てる場所について誠に申し訳ございません。こちら江藤ポイントで作った後にPDF化するとき、ちょっとこのような検討をしましておりましたので、
0:35:44	ちょっとPDF化する際のちょっと作業、これから注意いたしたいと考えております。以上です。
0:35:50	はい。季節ハバサキです私
0:35:52	この図で右側の端が 10 秒なんで、それ以上もう、きちんと生活してますっていうことを、あえてようとしてるのかなと思って、ほんなら枠の右の端の数字を書いた方がいいですねというコメントしようと思ったんですけども、
0:36:07	どうもそういう趣旨じゃならそうなんで、きちんとはげたところは、あと参考資料、後ろの方もすべて出てますんでですね、きちんと処理してください。
0:36:18	以上です。
0:36:21	はい。日本原燃山口で承知いたしました。こちらの伝達関数の図 22 と、あとそれ以降サポートの部分も含め、確認した上で、衛藤遊佐いただきます。以上です。
0:36:37	清町の岸野です。私の説明内容の、
0:36:42	梅津久野筒井を確認させていただきたいんですけど、

0:36:45	151 ページなんですけれども、
0:36:50	2 ポツ目でですね。
0:36:52	19 日、10 ページに示した時刻歴は系の局長を、
0:36:58	経理に反映することが必要。
0:37:01	あるんですから、これどういう意味なのかなと思います。ページに示した時刻歴は系のところを見ますと、
0:37:09	需要と比べてヒガシにして、
0:37:12	レンジが深部と異なるようっていうことで、10 ページの特に時刻させないように、すいません、岸野さん、ちょっと待ってください。
0:37:24	すいません。ちょっと聞こえづらくてですね、キシノさん発言中、本庁は音声ミュートにしてもらえますか。
0:37:32	規制庁山崎です。了解しました。
0:37:35	矢代です。
0:37:37	今は大丈夫ですか。
0:37:40	大丈夫です。お願いします。続きます。江藤。
0:37:44	10 ページには時刻歴は系の特徴らしき説明はちょっと見当たらず、9 ページの説明も、深部と比べて表層部分のは形が変わってるよということの説明があるんですが、
0:37:57	これを丁寧に反映するっていうのは具体的にどういうことをやられたのかっていうのを説明いただけますか。
0:38:06	これは、
0:38:08	県の大戸でございます。今おっしゃっていただければ、10 ページの一番下の記載のところの、
0:38:18	準備、11 ページの、はい。
0:38:21	二つポツ目に、
0:38:23	企業目減り 9 ページ 10 ページに示した時刻歴は系の特徴。
0:38:28	を丁寧に反映することが必要と考えたってあるんだけど、はい、時刻歴は系の特徴を反映するって一体何をどう反映したのかわからないなと思ってる質問です。
0:38:40	2 年ノモトでございます。ですね、ここで記載してることの意図は時刻歴八景、そうですね。
0:38:52	その構造のトップ表。
0:38:55	ここのそうですね殿。
0:38:58	二つ、過半数の小日比所に、

0:39:02	の検討のところ、中国リハ系って言うとき、書く必要がないかなという。
0:39:07	ふうには思ったんですが、六ヶ所オガワ意見ありますか。
0:39:15	はい、六ヶ所側日本原燃山口です。この記載としては、前段の9ページ10ページに示した、時刻歴先衛藤時刻歴は系、鉄道を進めるにあたって時刻歴は形。
0:39:29	確認を行いました。その上でちょっと特徴があったので、地質の確認を行いましたってところ全体をちょっと呼び込む形で、それらを踏まえて、
0:39:39	結局はその地質構造ってところ、丁寧に反映することが必要というところを、書き方があったということになりますので、ちょっとすいませんコサクです。
0:39:48	回答になってないので、
0:39:51	丁寧に反映って何ですか。
0:39:54	どう繋がってんですかって質問してるのに、
0:39:56	90を踏まえて丁寧に反映したってことを書きましたって言っても堂々めぐりですね。
0:40:04	結局ワー地下構造が単純じゃないので、その影響が考えられるから分析をしていきました具体的には、
0:40:14	その次のページで先ほどプロセスをちゃんと明確にしてくれと言っていた、
0:40:22	また、震度でも細分化をしていけたり
0:40:27	一応、
0:40:29	構造を踏まえながら設定をしていくということで12ページの真ん中、II級にあるような形で、検討を進めましたってことが言いたいただけなんじゃないんですか。
0:40:41	はい。
0:40:42	どうぞ、萩野でございます。はい。今おっしゃった通りかなと思っていてそういう意味でこの記載はですね。
0:40:49	確かにそのアノスズキ室構造の特徴を、をもとに、この点とやっていると、ということであってその傷構造を、
0:41:03	検討する全体として存置目的が出発にあったのは確かなんですけども、ここで費用として記載するにあたっては、もう1個クリア系の話、
0:41:14	ここでわざわざ書くというのはちょっと記載として混乱するなという木曾さんのご指摘その通りかなというふうには思ったので、ここをもう大池書かずに、

0:41:25	ここはですね基礎構造の話だけを書く方が記載としてはすっきりするかなというふうに思います。六ヶ所側はそれで問題ないですね。
0:41:38	はい。日本原燃山口です。問題ございません。
0:41:44	内野キシノです。私はここ外してくださいというつもりで、先ほど古作調査官からもありましたように、ここで意味するところを明確に具体的に書いていただければというふうなイメージなんですけれども。
0:41:56	それで下岡見層で説明に困るから外したいっていうんだったらそれはおまかせします。人間の問題でございますはい。ありがとうございますすきちんと書き下すか。そうか端的にわかるように記載するか、ちょっとどちらか我々ちょっと検討したいと思います。
0:42:16	チーム長の岸野です。はい。ここは補足ですごめんなさい。
0:42:20	今の話の中でちょっと私も全体としてよくわかんなかったのは、9ページで書いてある、
0:42:29	は形がですね深度ごとで違っているという話について、
0:42:35	その次のページは
0:42:38	記録また別の角度からっていう話、記録というか、データを別の角度からっていうことだと思うんですけど、
0:42:47	それ以降があまりその関係が触れられていなくて、あれどこだっけ。
0:42:57	と干渉法。
0:42:59	のところになって少し触れられるのかな。
0:43:04	で、そのどこでどう使うのが適切なのかみたいなのが、この資料見てバラバラと出てくるのでよくわかんなかったんですけどそのあたりどう考えて整理をされてるんでしょうか。
0:43:16	元のことでございます。ここはですね、今おっしゃってる通りですね被告リハについては、田坂兵庫による検討のところ、
0:43:29	この徳井がこの記憶力班の状態というのはこの地盤のこの状態から出てくるものであるという分析を加えてはおるんですけれども、
0:43:40	前段のですね先ほど議論になりました、この伝達関数による土手の検討のところでは、今日も栗城羽賀登用することがなくてですね地盤の情報しか登場しないと。
0:43:57	いうことすいません私どもちょっと説明も少し混乱してしまっただころはあるんですけれども、
0:44:02	ということなので、2番の情報は伝達関数に対して、参加すると、で、時刻意見及び地盤の情報が、基準化情報の方に参加するとこういう構造になってございます。以上でございます。

0:44:19	はい、古作です。
0:44:22	まずは、なんでそれでいいのかっていうことを入口でちゃんと言わないと、つまみ食いしてるようにしか聞こえないので、
0:44:30	そう。そういったところがちゃんと書けてないから先ほどの 11 ページの矢羽根二つ目のような話になっちゃうんじゃないかなと。
0:44:40	思います。
0:44:42	で、さらに言うと、ちょっとこれ木曾さんごめんなさいね。
0:44:48	9 ページで
0:44:50	地震観測記録では計示されているんですが、なんでここで出てくるのかなって思うと、
0:45:01	8 ページでは一番丸が三つあって、一つ目の丸に対してっていうことかなと。
0:45:08	想像したんですけど、
0:45:10	この一つ目の〇も、その一番上の文章を見ると、
0:45:16	東側地盤におけるっていう中に入ってるような気がしていて、一方で、先ほどの説明で 6 ページ、いくと、
0:45:25	地震観測記録の確認というのは全地盤でやると。
0:45:31	いう今回の会合の一つ目の丸の一つ目のヤマダに書いてある。
0:45:35	これがどこにもないんですけど、
0:45:38	どう整理されてるんですか。辨野でございます。これちょっとすみません、最初にですね資料ちょっとザッと説明する時にちょっと口でぱらぱらと申し上げて、
0:45:47	申し訳なかったですけど 8 ページ目のですね、今おっしゃっていただいた四角の丸一つ目のところですね、これは 2 ヒガシ協が対象でございます。丸の二つ目三つ目がこれがヒガシ対象になるのでこれを、
0:45:59	記載しなければならぬところが今抜けてございます。これ通キーをアノさせていただきますと思っております。以上でございます。
0:46:08	はい。補足です。わかりました。であると 8 ページの一番上の、
0:46:13	四角の上の文章も直さないと誤解するので整理をしていただいて、
0:46:22	その上で、全地盤について対応するとなると、9 ページをそういう関係で、井清金を、
0:46:29	しているのがもうちょっとわかりやすいようにするのはいかがでしょうかわかりませんが、
0:46:33	そこでまず並べるという意味合いになるってことですかね。
0:46:39	榎本でございますその通りでございます。

0:46:43	はい、古作です。わかりました。岸野さんすいませんオカします。
0:46:48	規制庁の石野です。
0:46:52	はい。
0:46:54	あと他のページがちょっと説明内容ね。
0:46:58	ニシタニです。12 ページをお願いしたいんですけれども。
0:47:02	上の文章の一番下の行ですね。
0:47:06	教官よりも下部の速度は、
0:47:09	よく事務-120メートルGの速度構造と整合することを確認したところで すけど、
0:47:17	整合しているんで、この結果、正しいんだっていうような趣旨の、
0:47:23	使われ方をせ説明されてますけれども、
0:47:27	これは、
0:47:28	従来原則 20 メートル以深って言ったら解放基盤表面強いんだと思いま すけど、
0:47:34	この速度構造と整合することが正しい設定だと。
0:47:38	つまり申請との結果はそれに整合しないからこれはもう正しくないんだ という、そういう趣旨で書かれたと理解する。
0:47:50	元のでございます。ごめんなさい六ヶ所側から書いていただいてよろし いですか。
0:48:03	六ヶ所私少々お待ちください。
0:48:42	規制庁の千野です。その余ってる間に少し補足しますと、PS検層を最 初に、
0:48:50	獲られていてそれに基づいて設定してるんだけどなかなか合わないね ということで、調整したら、会って来た合ってきたんで、
0:49:00	それが 8205090 にしたことであってきて、
0:49:06	それが解放基盤表面の速度構造等も整合してきましたよという管理事 実確認、事実を述べているだけなのか、ここでの言い方っていうのは、
0:49:16	PS検層の値よりも、解放基盤表面のVsに近い値に合ってきたことで、 よりこれは信頼できる結果なんだって言うようにも読めるんですけ ども、そうすると、
0:49:29	PS検層ってあまり信頼できないよねっていうようなニュアンスの感じ取 られたんですが、そういうニュアンスで書いているのか、単に事実関係 を述べているだけなのかどちらの趣旨ですかという、質問。
0:49:40	に変えます。
0:49:41	ご覧いただけますか。

0:49:44	はい。6月アガワ日本原燃山口でございます。岸野さんから今お話いただいた内容としては江藤、こちらとしてはその同定された速度の結果、事実としてこうなっているという内容を記載した箇所になってございます。以上です。
0:50:00	市長、金です。はい、わかりました。そうすると、何か整合してよかったねっていう感じられるんですけど別にそこまでの意味合いは、
0:50:07	なくて、あれなんか、
0:50:09	なんかたまたま介護基盤表面以深等が打ってきたねという事実を述べているだけと、そう理解。
0:50:16	すればいいと。はい。わかりました。何か補足することありますね。
0:50:24	すいませんコサクです。
0:50:27	今ので私が
0:50:30	没却なんてサラトリ的な感じでわからなくなったんですけど、
0:50:36	PS検層と合わなくなったと言われてたんですけど、
0:50:43	どこかと違うのかよくわからなくて、11ページを見ると、
0:50:52	結局速度の違いって
0:50:56	70メートルぐらいのところであって、
0:51:00	大本でその文章で書いてある。
0:51:03	115メートルもDPS検層においてVs820って言ってる一定と言ってるのか、何のことだかよくわかんないんですけど、
0:51:16	どう思ってるんですか、現在でございます。まず、11ページですねこの大木一村図ですね地図断面図の標高って書いてありますけどこれがですねGLの高さと、
0:51:29	なっていないので、ここはちょっとちゃんとですね、着える一の対応がわかるような記載をちゃんと追記したいと思います。今ちょっと抜けてございます。ちょっと先ほど
0:51:40	ハバサキさんからもご指摘いただきましたけどもここを改めたいと思います。で、その上ですね、ここをですね高さといましては、この12ページの図9のですね閉じるん。
0:51:56	の表記はこれまで数百メートルまであると思いますけれども、これが大体50メートルぐらいですね、これ比嘉須藤港の、
0:52:08	標高の高さになるみたいな、大体そのぐらいのオーダー間の関係性になってございます。すいませんお答えになっておりますでしょうか。
0:52:17	不足です。それで言うと最初のカミデのコメントを踏まえて対応すればわかりやすくなるのかもしれないんですけど、9ページの、

0:52:26	ごめんなさい、12 ページの図 9 の、赤線は、
0:52:31	11 ページでいうと緑点線になるってことですか。
0:52:35	はい。県の方でございます。はい。そうですその通りでございます。
0:52:43	はい。補足です。大体意図はわかりました。それで言うとそのPS検層と合わないというよりは、そもそも横から脳影響もあるので、それも加味すると。
0:52:57	純粋にその場所でのデータだけではよくなくて、
0:53:03	ていうのを織り交ぜるとこういう形になりますよっていうのが、通級ってこと。
0:53:08	ですよね。
0:53:09	人間の方でございますはい、おっしゃる通りです。
0:53:14	はい。
0:53:15	そうです。状況はわかりましたけど、そういったところ先ほどのこれまでのコメントも踏まえながらですね、わかりやすく説明できるようにしていただく。
0:53:25	筒井キシノさんお願いします。
0:53:28	はい。
0:53:29	医師規制庁の岸野です。
0:53:32	はい。ちょっと事務局で趣旨を通ったのは、
0:53:37	何かBS件数の結果と違う結果になったけど、むしろこの方がありますっていうような説明のように感じたので、これでいいのかなと思ったんですけども。
0:53:47	この 8201090 にしたというのは、
0:53:51	820 を極値しながら、振れ幅を設けて、同定させていたそのハバノ中での、その制度、より高い側で、とよく合ってきましたよという事実を淡々と述べているだけというふうに、
0:54:07	理解すればいいのかなと思ったんですが、こう受けとめればいいですか。
0:54:14	現在ノモトでございます。これは技術だと思っんですけれども、六ヶ所側から正確なお答えいただけるとありがたいです。
0:54:24	古作です。ごめんなさい。野本さん、イエスって言うんだったら私のさっきの質問に対してはノーと答えてもらわないと困る。
0:54:36	元の宗です。
0:54:38	向こうは、

0:54:40	PS検層がプロセスであるところに対して、その横の影響を踏まえた上で、等を同定をかけ直さなくてはいけなくて、その横の影響を
0:54:52	ある振れ幅の中で、この贈呈をかけた結果が青線であるということで、記者さんがおっしゃってることと整合はしたのかなとは思ったんですけども、すみません、古作です。それで言うと、横の横振れ幅という、振れ幅の意味が、はい。
0:55:09	キシノが考えてることと、
0:55:12	野本さんが考えてることと私の考えてることがあって、ないのかもしれないなと思ったんですけど、岸野さんは何をもってその振れ幅なんだって言われてるんです。はい。私がやってくれハバノは、
0:55:27	この1090という青線の数字が、横野黒瀬が820のプラマイ20%だったと思うんですけど、プラマイ何%という、振れ幅で調整している範囲の中に入ってますよねという意味で、
0:55:42	聞きました。
0:55:45	私がコサクです。私からの質問であったけどそのプラマイ20%っていうのは何ですか。
0:55:52	私は院長の金です。
0:55:55	今回の同定をするにあたっては、PS検査で出られた数字にある程度の幅、ばらつき、
0:56:04	持たせてその中で同定させていく速度も同定させていくというふうに説明を聞いてますので、827、20コサクです。ごめんなさい。
0:56:15	木曾さん、岸野さんは、そのプラマイ20%をどういう科学的意味があると思って聞いてますか。
0:56:23	支店長の岸です。これはPS件数測定値のばらつきとかですね、そういう周辺地盤の学生なんかを踏まえた幅の設定だと理解して、
0:56:39	周辺地盤のっていうのは、
0:56:44	ツツミです。
0:56:47	PS件数の地点は、県のデータですけどもその周辺地盤の影響を含んでますので、その周辺で物性が多少なりとも変動することを踏まえて、点のデータに対して、
0:57:00	幅を設けて調整をしている。
0:57:02	と私は理解して、
0:57:04	あとコサクその周辺って今言われてるのはこういった断層の先も含めて、
0:57:10	はい、規制庁野木です。呉サトウその通り。

0:57:14	はい。岸野さんの理解はわかりましたけど、原燃はどういうつもりで、今の部分を設定をしているのか。
0:57:23	というのを説明いただけますか。
0:57:25	前ノモトでございます。私の理解も今忌避のサーンが、おっしゃった通りだと思っていて、衛藤元田から点としてPS検層に取られてるのがこれが820という値と、
0:57:39	これをそのまま入れたときには合わなかったんだけどもそうするとその横からの、というふうに今おっしゃっていただきました。どうもごめんなさい、補足です。
0:57:50	野本さんすいません、直接答えましょうよ。東海林シマダ話を元に戻して全部で答えられちゃうとせつかく論点分解して、一つ一つ話をしようとしたのが話進まないじゃないですか。失礼いたしました。申し訳ありませんでした。
0:58:05	はい。端的に申しますと、このですね820という点に対して、横からの影響があるような値として、アノをずっとし直さなくてはいけないと、同時に直さなくちゃいけないのだけれどもそのときに、
0:58:19	元となる値から値は、そこはですねちゃんと取れたもので、措置として取れたものであるので、そこをある意味ですね基準点において、そこからの有効からの影響によるばらつきが、
0:58:33	この程度の範疇内であろうという意図での振れ幅というのを設定して、同定をかけていくとこういう手順になるというふうに理解してございます。以上でございます。
0:58:46	コサクである程度の振れ幅っていうのはどういうことを念頭に、20%という数字を決めたんですか。
0:58:54	全農でございます。プラマイ20%がおそらくこれはコウノ程度のなんつうか同定であれば、相場感で決めてるところが若干あるのかなとは思いますが、こちらの六ヶ所側から何かお答えすることができますか。
0:59:14	はい。六ヶ所側日本原燃山口です。
0:59:18	この振れ幅についてということですけども、高速炉層この地震計位置の速度が高くなる、高くなったところで大体Vs1100という値がありますので、そこを相場感として、その探索したということになっております。以上です。
0:59:38	はい。補足です。です。今の回答からすると、周辺に速度が高い地盤もあるので、そこに引っ張られてる可能性があるからそこまでの、

0:59:48	ところが入るようにしようとすると、20%程度っていうふうに見積もったってことですかね。結果、この 1090 というのも入ってくる状態になったと。
0:59:59	ということですか。
1:00:03	ありがとうございます。小西の通りだと思っております。
1:00:08	はい。補足です。すいません。規制庁上出です。今の話って本当かなって思っていて、そうだとすると、中央で見る振れ幅、西側で見る振れ幅っていうのはそれぞれ 20%じゃなくて、
1:00:20	周りの地質だったりその速度構造を見て、どれぐらいフローかって決めてるってことですか。
1:00:32	原電の郷でございます。中央での荒瀬同定にあたっての振れ幅。
1:00:39	と、その西東出の贈呈フロア、野瀬深さもそうなんですけれども、あれですね、そのドイどの程度同定の半球にするかっていうのは地質構造を見ながら決めてるのかというお問い合わせかと思うんですけれども、すみません六ヶ所からお答えできますか。
1:01:04	はい。日本原燃山口です。はい。藤カミヤさんおっしゃる通り、中央と東側っていうところで、その幅っていうところは若干考え変わっているところでございます。で、ここちょっとそ想定というかその精度感っていうところはあるんですがちょっと東側については、
1:01:21	これまでの知見というか、データを踏まえますと、ちょっとばらつきの大い、先ほどの何でしょう、その幅がでかいというところがありましたんで、それを踏まえた形での設定というところで、検討を進めております。以上です。
1:01:39	はい、規制庁カミデニイツよくわからなかったんでまたヒアリングでも確認しますけど、
1:01:44	考え、こういう考え方で、まさにプロセスですけどね、ちゃんと根拠を持って説明できるようにしておいてください。
1:01:58	安全の方でございます承知いたしました。
1:02:02	町長の岸野です。該当箇所について私、尾山榎プラマイ 20%って言いましたけど今補足説明資料見ましたらプラマイ、
1:02:12	プラマイというか、マイナス 5%だったりプラス 5%だったりっていう数字を設定しているようです。この辺りの詳細の条件設定についてはまだちょっと、
1:02:23	十分確認してないところもありますんでこれヒアリングの方で確認しまして、先ほどカミデヤギちょっと説明できる準備を進めておいていただければと思います。

1:02:34	現状でございます。確かアノコウノ指導を延長しません。補足説明資料の方はですねこれそちの動きなんかもあったようなところかというふうには思いますのでそのですね訂正も含めてですね、また、
1:02:47	金のご説明差し上げることにしてございます。以上でございます。
1:02:55	規制庁仁木です。はい。お願いします。あと電話系の会合資料で確認です。13 ページなんですけれども、
1:03:03	一つ目のポツの文章でユレーションの説明があるんですが、
1:03:08	タテ-08、補足説明資料においても、特に説明がなかったのてちょっと情報を入れておいていただきたいのか。
1:03:17	まず、1 行目なんですけど、
1:03:20	検討に用いて、各地震観測記録を入力したってあるんですけど、
1:03:27	多分モデルを組んで、もちろん、どこかの震度 2 地震観測記録を入力してると思うんですが、
1:03:34	どこに入れたのか。
1:03:36	で、医療のですね、解析を実施し、地震観測記録、応答スペクトル学校行っておりますが、どこの応答スペクトルの比較を行ったのか。
1:03:48	特にこの下の図を見ると、凡例にGL-18 メートルってあるんで、建物基礎底盤レベルでも、冒頭スペクトルの比較ということだと思ってしまうんですけど、
1:03:59	ちょっとそういった説明が、多分補足説明資料になって、
1:04:04	この資料でも出てこないんで、
1:04:07	説明を加えといていただきたいんですけど。
1:04:09	今、1ヶ所、理解できましたか、必要でしたらもう 1 回お伝えしますが、現在ノモトでございます。このヒライ個票解析の入力は、の情報をどこに入力してるのかということとこの出てくるアウトプットというのがどこの、
1:04:25	アウトプットなのかということの情報が必要であるというご指摘というふうには理解いたしました。補足説明資料に、見当たらないよというご指摘も踏まえまして、このパワーポイントと補足説明資料をもう一度ちょっと見返しまして必要なところにきちんと記載したいと思っております。以上でございます。
1:04:42	成長キシダです。はい。補足説明資料のひよつとしたらどこかに紛れ込んでるかもしれませんけれども、ちょっと確認の上で、介護資料の方に記載を追加しておいていただければと思います。
1:04:54	以上です。はい、承知いたしました。

1:04:59	あ、すみませんコサクですけど、今の、結局事実は何なんですか。
1:05:06	元ノモトでございます。これは入力解放基盤表面だなのかなというふうには思っておりますし、違ったかな。ごめんなさい。
1:05:20	すみません出力は木曾志田です。江藤ユフじゃ、
1:05:25	はい、大橋です。すみません六ヶ所が正確にお答えくださいすみません。いらんこと言うたらいかんと思います。私、
1:05:31	お前。
1:05:31	はい。六ヶ所側に文献でヤマグチです。えっとですね耐震建物 08 にもその内容記載はさせていただいてるんですけども、この感覚記録替えられている一番深いところGL-200 メーターの観測記録を入力して、
1:05:47	基礎底面相当というところでGL-18 メーターの方等をチェックしているといった形になってございますので、この資料の中でもその深さ関係というのがわかるような記載追加させていただきたいと思います。以上です。
1:06:02	一応キシノです。はい、わかりました。植生にあるんですね。はい。説明を加えておいていただければと思い
1:06:11	規制庁コサクです。
1:06:13	記載ぶりだけのコメントですけど、12 ページの、
1:06:19	IIIはちいて、
1:06:21	緑色でハッチングがかかって、同定時の対象周波数に対するガイソウ部分って書いてある。
1:06:30	の意味合いなり、
1:06:32	ここ、或いは中期、
1:06:34	も含め、何をここで言われてるのかよくわからなく、何、何を会合で説明したいんでしょうか。
1:06:43	玄野元でございます。これはですね、同定結果としてこの赤線、案緑線青線があるわけですけども、この同定の時に、
1:06:54	この対象周波数にしている部分というのが緑以外の白い部分、これが同定のアノン時の対応周波数になっていると。
1:07:06	ということなんですけれども、このあれですね、
1:07:14	減衰定数のこの設定にあたってですねこれ、この後、これをもとに、地震らしいか、いけないんですけども、
1:07:24	このときにはこの 0.02 のところからの周波数が必要だということで、そこまでちょっと線を引いた形で、この検討結果というふうに聞いていったところでございます。

1:07:37	このですね、解析での同定対象になっているところとガイソウで記載してるところをきちんと峻別してここは表記すべきであると。
1:07:47	今が議論をさせていただいて、このような表記になっているということでございます。以上でございます。
1:07:56	古作です。出資は理解しましたがこのガイソウ部分という表現だけでは、とても理解できないので、ちゃんと注記なりしていただければと思います。
1:08:10	はい、萩野でございます。はい。対応いたします。
1:08:23	規制庁カミデず、1点だけ。
1:08:27	39ページとかで、それぞれ載ってて、緑線があったりなかったりっていうのは何か意味があるんですか。
1:08:44	規制庁管理部音声聞こえてますと、機能でございます。はい。聞こえております。
1:08:52	そうですね。
1:08:57	地震によってバイリニアがあるやつなやつがあるんですけど、何かねらいがあるんです。
1:09:05	辨野でございます。ねらいはなくて、衛藤データを、がないのか、岩瀬じゃないか六ヶ所オガワアノをお答えできますか。
1:09:24	はい、六ヶ所が日本原燃山口です。はい。こちら、シミュレーション解析において取りバイリニアをやってるものやってないものがあるというところについてですけども、伝達関数の同定結果というところで、リニア型とバイリニア型はどちらも
1:09:40	大きく差が出てないというところの傾向を踏まえまして、リニア型で検討をして、ごめんなさい、バイリニアの検討においては数は3場程度を実施するというところの方針で検討を進めておりました。以上です。
1:09:57	はい、規制庁、水間。一応念のためやって大して差がないことを、南波カドイかな、幾つかの地震で確認したと。
1:10:07	ということでとりあえずわかりました私の方からは以上です。
1:10:16	規制庁のハセガワですけど、
1:10:18	ちょっと、ちょっと確認だけ幾つかし、
1:10:21	もらいたいんだけど、まず、ちょっと気になってるのが
1:10:28	ペイジーの観測記録の信頼性。
1:10:32	ていうところろろで、もともと、
1:10:37	まずこういういろんな分析する時には観測記録が正しい結果なのかどうかっていう確認の中で

1:10:46	提示構成とかっていう話と常時微動があるんだけど、
1:10:53	十分に観測記録に対して十分小さいレベルだから、
1:10:58	ていうのが理由になってるんだけど、これ、これ多分、もともと形て的に大丈夫かっていう、
1:11:06	正しいジョージBの要するに常時微動を、
1:11:10	うん。
1:11:11	見て、この観測不網として、場所場所で大丈夫かっていうのを見てるんじゃないかと。だから、レベル、まずレベルは、
1:11:22	まあまあ、レベルがめっちゃでかかったら何かおかしいぞみたいになるかもしれないけれども、基本的には、
1:11:29	ニシノヒガシも、
1:11:32	中央も、
1:11:34	それに見あった観測員なんていうそういうところなんじゃないかなと思っていて、だから、これをやって小さいレベルだから、
1:11:45	信頼性があるって言われても困るよね。
1:11:49	大きくても、
1:11:50	それすぐにでかい。
1:11:53	振動が出てくるやつがあれば、それは維持というそういう、
1:11:58	そうだと思うんで、ちょっとこういうところが気になりますと。
1:12:01	いう。
1:12:02	それから、
1:12:03	伝達関数、
1:12:06	やってるのが、伝達関数、要は、地震観測記録から伝達関数を求めて、減衰っていうのは、もともと減衰とかを評価したいっていうのはわかってるんだけど、
1:12:19	伝達関数とシミュレーションの関係っていうのは、減衰だけではなくてすべての要素がここに入ってるんだよね。さっきも皆さん速度構造の話とかも、
1:12:31	言ってるように、なので、これ減衰だけかって言われちゃうと、ちょっとこのタイトルが気になるよねと。
1:12:40	いうふうに、地震は干渉法はもうほとんど冷水だけ、見に行ってるっていう意味ではわかるんだけど、伝達関数とシミュレーションの関係っていうのは、
1:12:51	減衰もちろん入ってるんだけど、その他に剛性とかすべての要素が込み込みになっていると。

1:12:59	要するにこの地盤の構造をモデル化するということで、それが伝達関数 κ 2の中にすべてが込み込みになるとすると、ちょっとタイトルのに、
1:13:13	気になるし、
1:13:15	減衰だけの話をしてるわけじゃないから、はい。
1:13:19	どうなんだろうなっていう。
1:13:21	全体的に気になります。
1:13:24	はい。全部流してもいいけれども、
1:13:27	下に振ってくださいありがとうございます。常時利用のところは教えていただいた。
1:13:35	程度ですか。
1:13:36	ですけども
1:13:38	13ページ名のところですね想定した速度構造減衰定数を用いてって、何かこんな感じで全部見てますみたいな。
1:13:48	功勞で書いたつもりではあったんですが、そうですね、タイトルだけ。
1:13:58	もうちょっと、
1:14:01	ちょっと、はい。特に
1:14:03	太字のやつ、ところが、書きになっちゃったんで流してもいいですけどねっていう、これぐらいだったら、
1:14:13	ね。はい。
1:14:14	だから、はい。何でこういうことを言うかっていうと、
1:14:18	今回の全体の説明っていうのが、
1:14:23	もともと中央は、何も考えずにやっちゃったんだよね。そんなにおかしくなかったし、それなりに思ったぐらいのデータが出たので、
1:14:34	中央は実は流しちゃったんだけど、ヒガシなり、西に行ったときに、あれってなっちゃったから、実は、中央も含めて全部1回元に戻ったわけですよ。
1:14:46	根本に戻って観測記録が正しいのかどうかって言うところの検証からもう一度やり直して、観測記録が地震、それなりになると。
1:15:00	よってヒガシとか西っていうのは、最終的に地震計の位置の問題とか、もともと時あまり乗ってるとか、
1:15:10	埋戻しのところについていちゃってるとか、それから地下の構造的に複雑系のところに乗っかっちゃってるとか、いろんなことが分かっ。

1:15:20	ていうのが今回、それなんで、中央、気にしなくても、意外と単純だったんで、土岐ニシナかったですと、一方ヒガシとか西は結構気にしないとイケないなど。
1:15:33	伝達関数で求めるにしろ、構造的な問題っていうのが、当然複雑形になってるから、それをちゃんと踏まえないとイケないなどかっていうのが表れている。
1:15:45	で、先ほど伝達活動の話をしたんだけど、たくさんの地震観測記録からある、大体平均的な伝達関数、これは皆さん目的関数みたいっていう言い方をしてたっけ。
1:15:59	して、嘘それにフィッティングするようなモデルを、
1:16:05	もう仮に作ったとしたら、
1:16:08	それ仮に作ったときに、今あるデータをある程度、こう見ながら作ったとしたらこんなモデルができて、割と
1:16:18	ある仮定モデル、呉は意外とフィッティングできるような仮定モデルがつく例でしたねっていうのが多分今回の話なんだよね。それでその過程モデルを作ったときに、
1:16:31	今あるデータっていうのをある程度見ながらやってますと、地下構造を見ながらやって合ってるんで、これからたくさん他のデータも出てくるから、
1:16:42	最終的にそれを総合的に勘案すれば、何とかイケそうだからの話が、
1:16:49	今回の話なのかなあと思ってるんですけど。
1:16:53	そういう趣旨の、今回説明になるんですかね。
1:16:57	はい。
1:16:57	安慶名でございます。そうですし、おっしゃっていただいた出資に基づけば13ページこれタイトルところで減衰定数に基づくシミュレーションってなってるのが、
1:17:09	少しちょっと趣旨に合わないなとおっしゃってる趣旨もわかりましたので、ここの行政に基づくっていうような記載がなくてもタイトルに成立するかとは思いますが。
1:17:20	で、
1:17:20	ここ、人的工数の部分っていうのは、すべて以下込みになってるんですよ。はい。
1:17:28	なので結構カーとしての今までのことを出せるような意味合いですね。はい。
1:17:33	ちょっと、何で次の、何だっけ。

1:17:37	干渉も干渉法っていうのはもう、地下構造もへったくれもなくともうもう波しか見てないので、これは減衰だけにいきましたっていう成立するんだけど、
1:17:47	もうちょっと、
1:17:48	そこと違ってるとっていうのを、
1:17:51	ちゃんと出しといた方が
1:17:53	いいんじゃない。
1:17:54	いう気はします。はい。13 ページ。
1:17:58	後で使いづらい。
1:18:09	本町ハバサキですけれども、あと残りの部分、耐震関係、
1:18:15	このAとありますか。
1:18:17	確認事項。
1:18:22	規制庁ヤマグチネット伺いなければ、まず最初、
1:18:27	1 回、
1:18:32	規制庁セガワですけどこれ最後に 1 分でいいので、
1:18:36	全体の体制の部分。
1:18:40	うん。
1:18:41	はい。
1:18:42	整理します。
1:18:47	です。
1:18:48	はい。
1:18:54	今までの振り返りは全部まとめますので引き続きお願い。
1:19:01	口頭で口頭でいただければ、
1:19:04	猪狩。
1:19:05	それも負担できるよという細かに振り替えた。
1:19:09	いや、
1:19:11	左そしたらアノさせていただこうと思います。
1:19:18	戸塚
1:19:21	越冬
1:19:28	そうですね、8 ページ、ここですね、丸のところにグラフ 9 をとそれだけの検討の部分がありますんでそれちゃんと書き分ける形での修正を、
1:19:38	したいと思います。
1:19:40	それから、9 ページ。

1:19:44	Pのところについては、まず 10 ページのところですね、活力のシライのところこれ十字微増を、を見て、そのオオバシバSTATION大丈夫であるということを確認してるという趣旨のところ、少しわかるような形で、これ記載を改めたいというふうに思います。
1:20:03	それから、
1:20:07	9 ページ 10 ページのところ、ところの一番とそれから監査記録の分析がですねそれぞれその検討が 11 ページの
1:20:20	スタッフによる検討それから 14 ページからの課長による検討のそれぞれのどこにですねこの
1:20:28	家族のことを一番の衛藤町検討の内容がですね結びついていくかの紐づけがわかるように記載するというところでございます。
1:20:39	それから、ですね、11 ページのところですね、ところ、ここの矢羽根のところですね、一言言うと浅香期間がちゃんとわかるようにということで、
1:20:51	この手順をですね丁寧に記載すると、いうことが大事だと、いうことでございましてその結果が、1023 人、きかせてますと。
1:21:01	言ったような構成に直すということでございます。
1:21:04	で、19 ページの地域固有周期の記載ですねこれ委員文言的に頭を出したということでちょっとここは文言を
1:21:14	調整させていただきたいと
1:21:18	で、それから 11 ページこれあれですね、GLの記載がないのはこれは高さん。
1:21:26	いうところ、それから 12 ページはですね
1:21:33	小塚は出てるのはこれはちゃんと
1:21:37	うん。
1:21:41	これ、同定日のですね対象周波数に対する会社分、
1:21:47	記載がございすけどもここちょっと、この人済ますんじゃなくて意味合いがわかるような追記ということで記載したく、
1:21:56	13 ページですね、こちらはですねタイトル
1:22:00	想定欠陥のそのモデルに基づく呉のシミュレーション解析であるというふうなちょっとタイトルをカミヤしたいと。
1:22:07	で、このですねシミュレーションの地震の入力区域出力値、これがわかる記載をこのシートには、土佐。
1:22:16	いうふうに思っております。
1:22:19	桃里以上でございます。
1:22:34	すいませんコサクです。13 ページ四角の

1:22:39	記載を改めるって言ったんですけど、これ、次、11 ページから続いているんですが、
1:22:45	11 ページから直すってことでいいですか。
1:22:48	県の方でございます。そうですね、洪江下表解析とその原石を贈呈のところをタイトルとしてちょっと書き分けるのかなというふうに私は思っております。ちょっと全体整合とれるように書き換えたいと思います。
1:23:05	はい。補足です。
1:23:08	整理をしていただければと思うんですけど、真崎の話になるかもしれませんが、この 11 ページで書いている初期地盤モデルの作成っていうこの、
1:23:21	経験値が、
1:23:27	最終的に設計で用いる地盤モデルの設定に対して、何らか検討がされると思っているんですけど、
1:23:36	その理解でいいんですよね。
1:23:38	県民ノートでございます。ですね、この初期地盤モデルはPS検層の結果そのままのものっていう形になっていてこれ
1:23:50	観測記録 1 っていうのですね、PS検層結果でこれ設定してるものになってますんで、あ、ごめんなさい、古作です。すいませんそそういう意味でこの丸が書いてあるんだとするとごめんなさい。
1:24:01	次の 12 ページで、図 9 で書いているものが、
1:24:06	11 ページに来てそれオフ、それに対する説明になる部分という理解で発言したので、
1:24:15	言葉じりはちょっと。
1:24:18	そこも含めて適正化をしていただければと思うんですけど、12 ページの図 9 の結果っていうのが、或いはこの検討。
1:24:29	の経験値と、
1:24:30	というのが最終的に県、設計にも生かされるということで、次回自治会、自治会かわかりませんが説明はさ、されると、しっかりとこれについての見解を述べていただくということでもいいですか。
1:24:46	元井本でございます。はい。ご趣旨を
1:24:51	ちゃんととらえていれらばと思うんですけどこの地質構造についてですね、この周辺の地盤調査、
1:25:00	踏まえた検討が必要だということを各々の地盤の中では検討して参りますのでそういう意味で反映していく。
1:25:07	なお、

1:25:13	はい。東側自分を全部モデルを変えるということも視野に入れているというふうに理解をしました。
1:25:33	ジンノでございます。はい。ありがとうございます。今それぞれですね、時点でのPS検層をもとに、地盤モデルを策定しておりますのでその時にはその期間もの構造図ですね。
1:25:45	ここで分析したようなそういう地下の構造に基づく検討ももとに設定すると、これは地震ガスヒロキ地でのこれは検討ですけどもオノの時点で、
1:25:56	それぞれの一番の地盤状況踏まえて検討していくということだというふうに理解してございます。以上でございます。
1:26:12	はい、尾崎です。わかりました。ちなみに地盤モデルの数、策定と、どういう状況になってるのかっていう説明いつになるんでしたっけ。
1:26:22	前のことでございます。ここは、実際の岩盤の物性期ですね設定において、
1:26:31	1月、
1:26:32	18ページ、18ページ。
1:26:36	はい。最終的にまとめ上げるのは1月にあれですね設定することになりますし、そのプロセスは順次ご説明していく。
1:27:00	はい、古作です。18ページの④のところろう。
1:27:06	というふうことですね。
1:27:09	ありがとうございますはいその通りでございます。
1:27:14	はい。
1:27:15	そうです。この③と④は介護一つですか二つですか。
1:27:20	現状でございます。そこを今ですね、明解にはできていないところでございます。
1:27:26	ちょっとそこは、
1:27:28	いただければというので今の現状を申し上げるだけになってます。
1:27:34	はい、古作です。わかりました。検討状況を踏まえて、また確認させていただける
1:27:39	す。
1:27:43	スズキヤマグチでしょ。河西新聞について規制庁わかりますでしょうか。
1:27:55	ちょっとさつき、ノモト1本取って、はい。
1:27:59	それではですねここ、
1:28:01	といたしましては、まず、ろ右下6ページに、
1:28:11	なんか、

1:28:12	けれども、我々の検討の、
1:28:14	考え方というのは前回審査会合でも説明
1:28:19	で説明させていただき、
1:28:21	そこは1から地震等の算定に用いる今までの検討を実施するということでデータを積み上げてると。
1:28:27	タダノを外部からの支援をいただいている
1:28:30	ということそれから、このですね、岩盤部分の
1:28:36	一部、そこまで多分御伺ったそうです。はい。
1:28:41	で、これを踏まえまして今回の審査会合、それから今後の説明というところ
1:28:49	で、7ページ目、8ページ目で、前回のですね、衛藤を持ち、前回に策定した計画を基に今回、ここのところを検討するということで、本日は西垣野地坂野。
1:29:02	分析状況、それから、それを基にした減衰定数の検討は、これはアノヒガシマイ所に対しての検討状況をご説明するというので、伝達関数による検討内容と会社法
1:29:17	ご説明いたします。
1:29:19	ということで、9ページ10ページ、これは、
1:29:23	本来やホンダに入って、
1:29:25	今のうちに説明の概要だから、さっき僕が説明したような、
1:29:30	地方がやってくる年ヒガシが何でコードコウノ項目です。
1:29:39	そうですね、はい、じゃあそこがねすごい大事だから言ってるんだけど、今回、どういう説明のコンセプトになってるかっていう
1:29:48	説明の内容じゃなくて、
1:29:50	これねいかにもでも説明できちゃうんだよね。
1:29:54	だから、なんでこの順番に並んでるとか。
1:29:57	どういう構成なんですかっていう。
1:29:59	はい。
1:30:01	それは僕がさっきちょっとしゃべったじゃないですか。あれと一緒になのか違うのか、もういい。はい。
1:30:08	表現できるアノすみません、ちょっとまた詳細調査しますけども、中央や、前回中をやっていましたんで、次回、西ヒガシいうということにも必ず今回ヒガシだけになりましたけども、

1:30:21	中央の葉系と1ヶ所の波及を比べて、少し違うということで、手間のかかることがわかりましたので、速度地層から、ちゃんと調べ直して1個1個やる、やったことによって今回はヒガシだけを説明します。
1:30:34	次は火道を説明します。東牟婁手間がかかったのは、これこれこういう理由で、手間がかかって丁寧にやった結果、何とかピッチングまで行きて同定がすることができました。
1:30:45	次回は、西尾それを同じ手法で説明したいと思います。このように、一つ一つデータに向き合ってやっていきたい。実際自身は解消方法は、これ、何か中途半端な書き方なんです。
1:30:56	ヴィッキーズやってできない。
1:30:59	はい。
1:31:00	ちゃんと、
1:31:02	そういう所、
1:31:05	はい。
1:31:14	かコサクです。
1:31:16	今のところ、データに向き合ってっていうデータが何かあった時に今回だとし、
1:31:22	地下の構造ということで、
1:31:26	減衰定数だけじゃなくてモデルの設定の仕方ということについても、検討を深めたと、ということですよね。
1:31:37	はい、ありがとうございますはい、おっしゃる通りです。
1:31:48	山口です。
1:31:51	つければ
1:31:54	はい、乳井西浦でございます。それでは、ページ、50ページからになります。50ページに書いてある項目二つが全体を、今回のパーツでございます。
1:32:06	51ページでございますが、前回の会合でのお話で話をした事項を、それを踏まえて今回何を説明するか、今後説明するポイントは何かと。
1:32:18	ということで先ほどの地盤関係の方の頭の、
1:32:23	群馬、京都府が合わせていますということでございます。
1:32:28	すいません会計の本人が日本語力が薄いのか、薄いのでというのがいいわけですけど51ページの最後のポツ、日本語になってないところがあるので、
1:32:39	修正をさせていただきます。

1:32:41	2-2 解析評価等についても今後の審査会合で説明方針説明を行いと書いてますが、整理方針等の説明を行い、方針を踏まえて、評価等に係る具体的な設計内容についても、説明をしていくと。
1:32:55	いう流れで、修正をさせていただきたいと思います。
1:32:59	これが全体のリードになります。
1:33:02	そのあとに、52 ページ前回全体の進捗のイメージもこの後にという話をしたんですが、53 ページから進捗名がついてますこれも、
1:33:14	すいません作っておいて言うのもあれですが、つける場所を間違えました。
1:33:18	これあくまでも複数第 2 回申請の、構造設計等の説明の進捗を示す絵になりますので、
1:33:27	50、56 が地上部になっている条文の全体の説明内容のページ、57 がボックスの今回の説明グループ 1 の全体の
1:33:39	骨格の話。
1:33:42	58 ページが説明グループ 1 で説明をしないといけない設計説明分類設計項目の関係を示したもので、先ほどの、そのあとに 50 吳サンゴ 14 の、
1:33:54	進捗を示すような、バーチャートを入れようと今思ってます。はい。
1:34:01	53 号 14 のバージョンとも、すいませんまだ修正が必要でして、53 ページの第十四条説明グループ 1 に青が塗っていないところは塗ります。
1:34:13	あと 54 ページの 30 条のところにグレーがついているのはこれ大説明グループ 5 で登場しますのですみませんより、質疑です。そこも修正をさせていただきたいと思います。
1:34:27	はい。
1:34:28	59 ページからがグローブボックスの構造設計が始まりまして、
1:34:35	違う、その前に説明しないといけない
1:34:38	後は、50、すみません、戻っていただいて 58 ページを見ていただいてですねこれが、
1:34:44	説明グループ 1 で対象になる設計説明分類と設計項目になります。米はそれぞれ振ってまして、
1:34:55	学校が切り換えてるが本体資料についてくるページのスタートのページになりますが、
1:35:00	※1※2 五名 39 名それぞれ今回本体についているものと、別添につくものの関係を、米印で書かさせていただきました。

1:35:12	特に※1 のグローブボックスのチームの構造設計については本体につけたのは、
1:35:18	MOXとしての特徴的な構造設計を、この本体側につけるということで、グローブボックスを使っている、いわゆるアノパネルみたいな構造体がありますよとかっていう話と、あと崩壊熱に関すること、あと課題の、
1:35:35	防火ダンパーの話ですね、関連を、
1:35:38	等、
1:35:39	対象物としてピックアップをしています。それが 50、60 ページ以降の表でそれぞれ青枠で、この本体についても対象はこれですというのを示させていただいています。
1:35:52	それ以外のところも米にこうありますが今回本体側につけているものが何で、それ以外は添付について徹底についてますという仕分けをさせていただいております。
1:36:04	はい。
1:36:06	60 ページ以降の対象物は前回から枠が、先ほどの考え方に基づいて対象物をピックアップした形にしていると。
1:36:18	ということと、
1:36:20	あとは、66 ページ以降の図の中で、ちょっと示し方どうするかっていうのは前回宿題になってましたが、里道部分からそれぞれの細かいところにリンクを貼るときに、
1:36:31	四角の後ろにですね下に上石でどういったものがどこにリンクを飛ばしているのかということがわかるようにそれぞれ記載をしたということでございます。
1:36:45	これは他のページモダン展開をさせていただいています。あと、
1:36:50	67 ページの図ですが、前回からグローブボックスに関係するパーツが全体的に入るように、修正をさせていただきました。
1:37:01	これももとのベースは、原料複数マツノ一時保管装置が入っているグローブボックスを対象にしています。
1:37:10	一部、
1:37:12	例えばですけど 67 ページの図の右側についての斜行括弧大と書いてあるものこれは本当の、
1:37:19	原料粉末ボックスマツノ 1 時保管装置が入っているグローブボックスですと、
1:37:25	絵の左側について、だと見えなくなってしまうのでこれを移動したりとかですねそういった工夫はさせていただきました。

1:37:33	あとそういったのを一部修正してますので、元は原料MOXマツノヘー時保管グローブボックスと言いながら、一部仮想的な形になっているところがありますということはお断りをさせていただきます。
1:37:45	はい。あと、すいませんこれもできるでしょうし、69 ページ以降減ったが大分ずれてですね、場所が線にかぶったりしてますんでこれを全体的に修正を、
1:37:57	させていただきますと思います。
1:38:00	はい。あと前回話題になったところで 74 ページのところの機能維持の構造、
1:38:07	配管の次、次のところですね管台のところの小機能維持一番左側の括弧構造強度と書いてあるところ、この間
1:38:14	何を書いてんだかよくわかんない話を書いてましたが、
1:38:18	ただいま書いてることもですねやはりまだ
1:38:22	設計上確かにイタレーションになるので評価に寄ってしまうところがあるんですけど構造設計として、じゃあ何を担保しなきゃいけないのかってところにタテウチにまだ立ち切れてない。
1:38:32	記載にはなってます。ただ何を考慮してこの構造を決めているのかっていうことを、設計上の配慮として分かるような文章には今、
1:38:40	中直したということでございます。
1:38:43	はい。
1:38:44	あと 74 ページの左上ので、前回サービス系がちょっとマルがなくて、線だけ書いてあってどこに何がつくんだみたいのがわからないところは、
1:38:55	を追加させて工夫、追加の絵を直させていただきました。
1:39:02	はい。あとは、
1:39:10	87 ページで前回ハバサキさんからあった上からも含めた構造変更みたいな話なんですけど確かに以前、
1:39:19	第 1 回的に、
1:39:21	以降にSsに持たせなきゃいけないグローブボックスみたいなものを考慮していろいろ目からも含めて、配慮があるということだったんですけど、今回第 2 回の対象にそれが入ってなくてですね。
1:39:32	第 3 回で、SGTS持たさなきゃいけない用途は、SA設備が入っているので、今回対象がないということで独断そこにはいじってませんということでございます。
1:39:43	はい。
1:39:45	あと 88 ページからがグローブボックスのチームの配置設計の話。

1:39:51	92 ページからが換気設備のシステム設計になります。この 92 ページも すいません前野構造石膏ブロック構造設計図自体が違ったり、
1:40:01	規制の事業という、非常に中途半端な状態を直しますということと、
1:40:06	93 ページ以降も先ほどのアベに減った外れてますのでこれも全部修正 をさせていただきます。
1:40:13	はい。
1:40:15	あとは、
1:40:19	あとはそうですね、同じような話が、
1:40:25	になりますので、割愛をさせていただきます。
1:40:30	はい。
1:40:31	下、これがフロアの複数の説明グループ 1 に関係する話になります。
1:40:39	で、139 ページから、再処理の設計説明分類説明グループの設定の話 になります。
1:40:49	前回から 140 ページの最初の設計説明分類の B のところは、表の形に したりして、工夫をさせていただきましたということ。
1:41:01	と、あとは 142 ページからの説明グループの設定のところは、
1:41:10	委員会からでいきますと、2 ポツ目、二つ目のポツのところに設定せ 説明グループの設定の考え方、基本的な考え方を、
1:41:20	記載をさせていただいたと。
1:41:23	ということ、あとは、説明グループの 4 と 5 は、
1:41:28	がひっくり返っているというのが、前回からの修正。
1:41:33	持っています。はい。
1:41:35	あとは説明グループの関連条文も含めた関係性を、その以降、143 ペ ージ以降につけさせていただいているということ。
1:41:51	でしょ。
1:41:53	あとは、
1:41:56	165 ページは、すみません、次の間隔が狭くて読みづらいところは、す いません修正をさせていただいているということと、
1:42:06	166 ページにそれぞれの、
1:42:09	条文ごとに、
1:42:10	説明項目、隅括弧で書いてあるものがどんなものがあるかっていうの を、まとめて整理をした評価をつけさせていただいてます。
1:42:20	はい。なるべく、

1:42:22	見やすいようにしたいのでうちちょっと工夫は続けたいと思いますが例えば一応ブルー説明グループ、167 ページ以降説明グループが、
1:42:32	セットになるように、並びを考えたりはしたんですが代表となる説明、設計説明分類がいろいろと入れ子になってたりというところがあるので、
1:42:43	そういうところも含めて見やすさもちょっと追求したいと思ってます。
1:42:48	はい。説明は以上になります。
1:42:53	それじゃ、
1:43:00	あ、規制庁の荒井です。よろしいでしょうか。
1:43:04	はい。
1:43:05	うん。
1:43:06	51 ページからですかね、今回の資料の説明なんですけども、
1:43:14	まず第 1 にですね、前回から説明時間、
1:43:19	ボックス等、最初に合わせて 15 分っていう形に、
1:43:23	していたと思うんですけども、例えばMOX、
1:43:27	ていうのは非常に、
1:43:29	会合資料本文としては大部になっているというところを踏まえて、どのように説明しようとしているのかっていうのを教えてください。
1:43:38	はい、イデニシダでございます。はい。基本説明は、51 ページから、
1:43:47	まずは 58 ページまで構成の話であったり対象が何かというところはまず、説明を一連させていただくということ。
1:43:57	あと、59 ページ以降のグローブボックスのところは、
1:44:03	ポイントを絞って、何を考えて施工設計のところを具体化していったのか、ポイントを絞って説明をしようと思ってますんで、
1:44:13	つけている野中のページを、対象を絞って説明しようと思ってます。
1:44:22	リンクを張りながらということで 66 ページから 67 ページにかけての説明。
1:44:28	ということ。
1:44:33	あとが、
1:44:37	構造設計の支持構造物のところのポイントで 82 ページからのポイントを説明をして、グローブボックスの一連の流れを説明をすると。
1:44:51	ということ。
1:44:52	あとは、配置設計の特段今回説明しようとは思ってなくてですね、次は換気設備のシステム設計のところを、フロモックスの構造設計と陸となる充填を踏まえて、102 ページの、

1:45:08	約 203 ページの系統設計の考え方というポイントを説明しようと思っ てます。
1:45:16	はい。あとは、
1:45:20	搬送設備、機械装置搬送設備の方も、全体の目次のパーツの一部を 説明した上で、今回ポイントになる 117 ページの話と、
1:45:32	その関係性自体の話として一つ、どれかをピックアップして説明をし ようということ考えてます。
1:45:42	はい。あと 5 ヶ月のところ 124 ページ以降のところは、121 ページと、ス ライドとしては、どこで、
1:45:52	125 ページということで、10 枚強になるよう、10 万ちょっと超えるぐら いの対象ページになるように説明をしようと思ってました。
1:46:05	規制庁の荒井です。
1:46:07	そうすると、本文として付けるしか以後資料本文としてつける中でも説 明されないところが多々あると思っていて、
1:46:19	例えば
1:46:21	先ほど言った通りページをこことどこことに絞るっていうところであ れば、58 ページ目までの、
1:46:28	全体の経緯とか概要とか説明範囲とかっていうところの中に、
1:46:34	例えば口頭で石原さんから MOX の特徴を踏まえて、ポイント絞って説 明してくっという部分の、
1:46:42	どこにあるのかっていうのと、多分それが書いてないのかなっていうの が 58 ページ目までのところなのかなと思うと、
1:46:51	あとは 55 ページと 50。
1:46:54	6 ページ。
1:46:56	ポイントを絞って説明するといった割に、なぜ、10 条と十七条なの かかっていうのは、整合させるのかそれとも何か違う意図があっ てこう、こう書いてるのかかっていうのは、説明できますか。
1:47:14	はい、三浦でございます。まずポイントを絞って審査会合で説明をす るという点は説明の仕方であったりなのであまりどこかに書こう とは思ってませんが、
1:47:28	おっしゃっていただいている趣旨を踏まえると、57 ページでは全 体、いや違う。
1:47:36	そっか、57、58 のセットが今回の説明グループ 1 の全体を示して ますので、

1:47:42	この後の説明のポイントっていうのをわかるように、特に※になっちゃってますので 58 ページの下の、
1:47:50	そういったところを、57 ページの下のところに、書き出すかということ。
1:47:56	二つ目のご出身の 56 号 56 が、なぜこれが、これだけがついてるのかっていうのが、すみません、ご質問の趣旨が理解できなかったんですがどういう趣旨でしたでしょう。
1:48:10	入場が閉じ込めで、17 条が貯蔵施設。
1:48:15	ですよ。はい。
1:48:19	それで、
1:48:20	通常分としてみ。
1:48:23	してみたときにこれが抽出されているという理解なのかそれとも何かそのあとに、
1:48:30	ボックスの特徴というところで搬送設備とか、あとは換気設備とかっていうのは、特に、
1:48:38	三橋で、
1:48:39	16 条 20 条とかっていうのは書かないんでしょうかっていう趣旨です。
1:48:44	はい、乳井西平でございます。はい。関連条文との接種を踏まえてっていうのは、おっしゃる通りのところは一応 50、
1:48:54	7 ページで間接 5、関連する要求事項も含めてということの関係性と、あとは 58 ページ全体関係する情報を示しているということを、で、
1:49:06	この構造設計等で考えなきゃいけない粹ってのはどういうことなのかっていうのを示しているつもりでした。で、5556 についておっしゃっていただいている、138 ページにある、
1:49:17	説明グループの主条文をターゲットに、このシートをつけさせていただいております。
1:49:23	はい。
1:49:33	はい、規制庁の新居です。5556 の趣旨は、はい、わかりました。そうすると、
1:49:41	先ほど口頭で説明あった通り、
1:49:44	53 と 54。
1:49:47	要は進捗上は、
1:49:50	58 以降に流れの説明の中でつけるというところで、
1:49:55	例えば
1:49:57	ちょっと進捗表に行って申し訳ないですけど、5354 の進捗表で、
1:50:02	一番右の解析評価、

1:50:06	3-2、2-2と3-2、これが空欄になってるところ等、バーで※書きになってるところの違いで、どう説明される予定ですか。
1:50:18	はい。乳井委員の石田でございます。はいそうですね。資格は、右側の1ポツでも、空欄があるので、空欄になっているところは説明対象があるということを確認して、
1:50:32	今空欄にしています。かつ進捗がないということで、バーのところは、対象としては、今回の対象ではないですということを示すため、もしくは、
1:50:44	左側の2-13-1の中で説明をすることにしますということの関係性を示したものになります。
1:50:52	はい。クーランだとどういうステータスなのかがわからないと、いうことを何ぼ趣旨だと思うので、空欄になってるところは、説明対象があるんだけども今回の説明の対象にはなっていないということも、
1:51:07	ステータスというか、状態表示だということがわかるように、ちょっと下工夫をしたいと思います。はい。
1:51:13	はい。
1:51:19	とりあえず全体の概要は、私からは以上です。
1:51:30	すいませんコサクです。今の関係でいうと、ちょっと、
1:51:34	私の認識と違うというか、追加コメントというかなんですけど、2-2は、一番最初に説明あったように、次回に方針を示してそれに基づいて説明しますと言っているんだから、
1:51:48	方針を整理をして
1:51:52	対応していく項目ですということを、付記すればいいんじゃないですか。
1:51:58	はい。与儀西田でございます。はい。ありがとうございますその方が、より適切かと思っておりますのではい。
1:52:05	おっしゃっていただいている通りだと思ってまして次回の会合での方針を説明させていただいてその方針に基づいてこのグルーピング軽い形も含めて整理をしていこうと思っておりますので、
1:52:16	そういうステータスのものだということがわかるようにさせていただきます。はい。
1:52:22	はい、そうです。その時2、全部がそうかっていうと、今回の申請対象で、対象条文にならないものはそういうものはないし、
1:52:33	ていうところではありますけど、一方で今火災とか溢水とかバーになってんですけど、影響評価は確かに説明しないけど、
1:52:43	設定根拠になるものって幾つかないですか。
1:52:48	はい。乳井イシハラでございます。はい。

1:52:51	おっしゃっていただいている通りですね。
1:52:54	第 2 回でも火災でいくと、
1:53:01	普通の消火設備って言うんすかね工程室とか部屋の消火設備の紹介剤の容量とかの設定公共みたいのが出てくるので、
1:53:10	そういうことも含めると、そうですね、2-2 のところの、ある種類型の中でもどういう扱いにするかっていうの整備の対象に入ると思いますんで、
1:53:20	そこも含めてちょっと誤解がないように、急いでやらないように記載を整理させていただきます。はい。
1:53:27	はい。補足です。
1:53:30	手前になってさかのぼって申し訳ないんですけど、1 ポツの書き方が空欄なのが非常によくわからなくて、
1:53:37	説明済みっていうのは何かっていうと、第 1 回でも基本設計方針なり整理はされていてという、
1:53:46	古藤。
1:53:48	ですかね。
1:53:50	はい。これまでの半年間で何、何をやったんでしたっけ。
1:53:53	はい、西平でございます。そういう意味でいくと、
1:53:58	取り込みの前回前々回、前回の時にご説明した 1 基については第 1 回でやったものから、変更はありませんだったかっていう説明をしたと思いますが、そういうステータスのものがグレーになっていると思ってます。
1:54:15	はい、古作です、少なくともとじ込みはそういう話をしたと思うんですけどそれ以外の条文ってあまり、
1:54:23	明示的に言ってなかったような気もするので、そういったす、どうしてこうしてるのかっていう意味合いをちゃんと書くんだと思うんですよ先ほどの 2-2 について方針整理した上でっていうのと同じで、
1:54:35	第 1 回で云々のものと同じとかっていうことじゃないかと思うんですけど。
1:54:43	それでいうと、この灰色と、
1:54:48	青とどういう違いがあるんだっていうのはどうですか。はい。海野イセ様でございます。はい。五条、六条後は、
1:54:58	十条、14 条ですね、ここまでは第 1 回で、共通部分を含めて、0-別紙 1 で、許可整合も含めた整理を、
1:55:09	説明をさせていただいたチームになります。
1:55:11	54 ページ側の 16 条、十七条 20 条 23 条は、

1:55:19	一部関係閉じ込めとの関係で触れたような記憶もあるんですけど、レベル別紙 1 上は、第 1 回の段階では、あまり
1:55:31	ヒアリングの場でも俎上に上がってないものという認識でございます。
1:55:38	はい。補足です。
1:55:40	とすると、この部分は
1:55:42	付記する内容が変わるということで、今回説明って言ってるんですけど説明どこにあるんですか。
1:55:49	はい。乳井瀬谷でございます。そう言われますと、はい。基本設計不行使云々だと思わないので。はい。
1:55:57	そうですね。
1:56:01	明日に言っているのは、
1:56:05	許可の許可基準規則、技術基準規則も含めて、変更がないというステータスは四つとも条文に、
1:56:15	変わりはないと思ってます。そういう意味では要求事項に変更がないので、何らか、どこかを行ったかということはないというのがステータスなんですけどそういうことも含めて、
1:56:27	1 ポツに関係する説明をしないといけないということで、ページをふやします。はい。
1:56:35	はい。コサクです。なって、何でこういうことが必要になってくるかっていうと、前回前々回とかボックスでやろうと、
1:56:46	というか、2 月 3 月ってことですけど、1 条文では対応できなくて、関連条文も含めて整理をしないと構造設計が説明できないと。
1:56:58	いうことに対応はしてその対応として、関連条文こうまとめられますよねっていうのまでは整理したものの、それを説明し切るといったときに、どういう配慮が必要かっていうのを、
1:57:10	今回ようやく最終的に見通しが立ったということだと思うので、それにあたってはこういったところの潰し込みも必要でしたと、ということだと思うので、
1:57:21	そういったことをですねやはり最初のリード文に書いてないと。
1:57:25	説明がつかないと思うんですね先ほど
1:57:29	53 ページ 54 ページの場所を変えるっていう話ありましたけど、
1:57:33	そういったリード文を書いたときに、どういうふうに並びを取るのがいいのかなってのはちょっと私は話を聞いてビジョンがわからなくなってます。

1:57:44	はい、弓削広井でございます。はい。ありがとうございます。やっていたように、
1:57:54	51 ページに言って例の丸二つ目の丸の次の矢羽根ですねこれがまさしく要求事項を関連性を持って説明をしないと。
1:58:03	一連の説明がクローズしないというのが今回のみそだと思いますので、
1:58:09	これとの関係で、今回の説明グループ 1 についても取り込めなければいいってもんじゃないと。
1:58:16	いうところで関連するものを挙げた上でそれに対する、1 ポツの説明というのあわせて、
1:58:22	していかないといけないんだと、いうことを示した上で、5354 を、そういう資料につけておくことという、
1:58:32	全体の関連性でどんな部分が対象の説明としては、グループごとにどういう関連性になっていくんですかみたいな全体像が見えると。
1:58:41	いうことも含めてはい。整理を今一度させていただきます。はい。
1:58:46	はい。細井ですよろしく申し上げます。それで
1:58:50	そういうとですね 51 ページって、全体のリーダ分なっちゃってるんですけど、これはどこにこれはどこにっていうふうになっちゃうんですよ。なので、一つ一つ丁寧っていう意味では、
1:59:02	51 ページの最初の丸っていうのは、5354 だったり、
1:59:07	或いはってというようなことで、その関係、その記載の中で、最初に
1:59:18	話のあった、
1:59:22	5556、何でこの二つなのっていうようなこともわかるようにしていただけるんじゃないかなと思うんですね。
1:59:33	で、それで私自身も市場分ということで整理をすればいいよと前回お話ししたんですけど、
1:59:42	まっさらな目でこれ見ると、何で搬送設備ないのっていうのがわからなくなるんですよ、換気も含めにはなるんですけど、
1:59:50	てなる投資条文、
1:59:54	最初の部分を含めると複数種条文であってもいいよねって話をしてますけど、なんで諸条文から漏れてるんでしたっけ。
2:00:04	はい。二宮でございます。はい。まずは単純に考えた時に最初、
2:00:12	社長がいたのでチャンピオンにまず被せよっていうところだけですね。なので、設計を説明して受けて、説明していく上で、これは明らかに、

2:00:23	この設備をタナベといったときには市場がこいつだろうというのが、とじ込み以外にも出てくるっていうのは、考えないといけないところあると思うので、そのこの整理は今一度させていただきます。はい。
2:00:38	はい。コサクです。よろしくお願ひします。それがおそらく、アライが見たときにですね、搬送設備換気設備って、これ説明しきる実今回の申請においては説明してるっていう感じなのに、
2:00:52	メインに上がらずに終わっちゃうっていうのがよくわからないねっていうことだと思うんですよ。
2:00:58	はい、というところでもしとも分類の集でもあるしということなんで、少しそこも見える形に整理をしていただければと思うんですけど。
2:01:09	1日でできますかっていうことがあって、
2:01:12	はい。ネタは、確か前にも作ってたはずなのでやはりそこも含めてはい。
2:01:19	レビューする形にします。はい。
2:01:24	はい。はい。コサクですいろいろ言いましたけど、
2:01:29	アライの話からの発生での件は以上です。荒井さんすいません。どうぞ。
2:01:39	ありがとうございます。そうですね単純に51ページからを見たときに、58ページまで、ちゃんとどこにどう飛んでるのかっていうのがわからないっていう話だったので、
2:01:51	補足いただいてありがとうございます。
2:01:55	うん。
2:01:59	オカ。
2:02:00	全体の部分とかで何かありますか。
2:02:03	コサクですごめんなさい。それで
2:02:07	先ほど話し合って、59ページ以降で実際説明するのは10ページ程度っていうことなんですけど、であればその10ページだけつけて、あとは別添に飛ばす。
2:02:19	はい、別添のどの部分ですよっていうのがわかれば十分だと思うんですけど、何でつける、もうそういうふうに変えるつもりでいるっていう理解でいいんですか。
2:02:30	はい。与儀市田でございます。はい。
2:02:33	すいませんこれはもうすべて私の整理ですね、十分に説明するって時間を割いて、

2:02:38	じゃあ 10 分でどこで説明するんだって最初にちゃんと決めとけば、その対象だけ絞ってつけばいいっていうところをちゃんと
2:02:45	決めて指示もできてなかったんで、こうなってます。はい。おっしゃっていただいているような形で、今回の説明ポイントをちゃんと明確にしてそれに関係するものだけを、まずは本体側につけるように、
2:02:58	させていただいて、
2:02:58	はい。
2:03:08	はい。
2:03:09	それ 10 日です。ちょっと今の関連してなんですが、
2:03:12	いっぺんに共通 12 を付けるのであればその別添で説明するっていうオプションはないですかというのも、同じことを、本文と別添で書いてあって、で、
2:03:24	どっちかに指摘受けたら、どっちかで説明するみたいなの。
2:03:28	私が結構、
2:03:31	あるのかなと思ひまして同じことを 2 度、
2:03:36	運営するというよりは、もう全部別添で説明してしまってもいいんじゃないかなと思うんです。
2:03:46	はい、与儀西平でございます。徹底はあくまで別添だと思ってまして、全体別添につけた上で、新、
2:03:58	回答の場でそのポイントとなるところを説明するものはやはり
2:04:03	このパワーポイントとして、整理をすべきかなと思ってました。
2:04:10	それをどこまで説明をするかというのは、あとおっしゃっていただいたようにやりとりをすれば当然別添のところを持ち出して説明をしないといけない。
2:04:19	部分程度であるとは思いますが、
2:04:22	そこは対応資料としての高角呉本体としての意味合いというものもあるのかなと思ってましたので、そういう整理かと。
2:04:30	いうふうに考えてましたが、違いますか。
2:04:34	はい。清徳田です。そういう考えということでしたらはい、わかりました。
2:04:41	コサクですけどちょっと補足すると、先ほど私が確認したように 10 ページ程度であればその方針でいいと思うんですよ。なんですけど、今回のように、何十ページもつけられると、別添って何の意味があるんだよみたいなるので、
2:04:54	その際にはダブってやる意味があるんですかっていう質問になると、いうことなので、

2:05:01	絞られるのであれば、それで結構だと思います。
2:05:06	はい。宮井知念石山でございますありがとうございます。はい。
2:05:13	規制庁上出ですけど、今の段階で、何ページぐらいは残るのかなってあります。
2:05:21	はい。すいません。
2:05:30	66、67 は少なくとも残ります。はい。あとは、
2:05:44	69
2:05:49	あとは、
2:05:58	耐震の
2:05:59	82 からの、これはどこか 1 枚を選ぼうと思っています。
2:06:08	はい。あとは、
2:06:10	規制庁ごめんなさい、80 年 83 辺りはあんまり私は会合で感じないね。はい。
2:06:22	であればそのあれの前の方のグローブボックスの構造、メインのポイントになりそうなところをピックアップしたいと思います。はい。
2:06:30	配置設計はそういう意味では野瀬ません。
2:06:36	いえ、換気設備のシステム設計も大井なるところを選んでということできくと、
2:06:45	102 と 103。
2:06:51	システムのところは終わり、正機械装置搬送設備のところは、
2:07:02	117 と。
2:07:09	69 か。
2:07:12	120 か。
2:07:14	どっちかを選ぶと。
2:07:16	はい。
2:07:19	123 ページのAppピットこの後、
2:07:23	はい。
2:07:24	120
2:07:27	125 ページですかね。
2:07:29	はい。
2:07:30	思ってます。はい。
2:07:37	ごめんなさい。ちょっと。
2:07:41	聞き逃したんですけど、配置設計って、
2:07:44	どうされるっていう、

2:07:46	飛ばそうと申しました別添に預けようかと思って、あれもあった方がいい。
2:07:51	コサクです。各種類何らか見えた方がいいので、はい。一つはつけてください。わかりました。はい、柳下でございます。ありがとうございます。
2:08:04	はい。五味委員さんのイメージは私は掴みました。私からは特に。はい。ありがとうございます。
2:08:15	規制庁の荒井です。ちょっと別個のところに行ったので、
2:08:22	ミナミなんですけど、
2:08:24	60 から、
2:08:27	60 ページってどうされますか。これは説明会等で促す程度で、
2:08:35	はい。ゆえに必要でございます。はい。そうしたいと思います。はい。
2:08:41	家族です。それも、
2:08:44	評価があるので、
2:08:48	5758 がーフジイの代替になっているんだと思うんですよ。はい。なので、こういったところ詳細は別添の目次、それぞれここにありますというふうに説明いただければ、
2:09:02	わざわざつける必要はないと思います。
2:09:06	はい、日本イセでございます。はい、ありがとうございます。はい。
2:09:10	ありがとうございます。承知しました。
2:09:14	はい。さっき先生のあれじゃそのような整理でっていうところで、ちょっとグローブボックスの洞道の中で、
2:09:23	神戸は 60、
2:09:26	9
2:09:27	66 から 65%という話がありましたけど、
2:09:32	もう一つの特徴としてはちょっと、
2:09:34	79 とか 80 ページとか 81 ページにある。
2:09:39	防火シャッターのところも一つ。
2:09:43	特徴なのかなあとは思ってるんですが、
2:09:48	例えばこれ 80 ページを見ていただくと、
2:09:55	火災に関する説明は、グループ 2 という話はあるんですけども、
2:10:01	防火シャッターの構造、
2:10:04	振れ止めローラーとかロック機構とか浮き上がり防止フック、
2:10:09	については、

2:10:11	火災以外でも、構造設計で担保すべき事項っていうのがあるのではないかと。
2:10:18	思っていて、そうすると、グループ1で何かしら、
2:10:22	ここの詳細構造については触れなければいけないのかなと思ってるんですけども。
2:10:28	まずはこの便座がですか。
2:10:31	はい、西尾でございます。はい。今回防火シャッターを頼もう、
2:10:38	やっていただいてね80ページの1でいくと、
2:10:42	グローブボックスの間に協会としてこのこいつがいて、これは全体。
2:10:48	取り込みの境界としての成立性も確認しないといけないということで、対象は入れました。
2:10:55	80ページに書いてあるご明示でっていう。
2:10:59	大グループに預けるのはシャッターそのもののツツミというか構成というか、3時間耐火の性能自体は、グループ預けますが、
2:11:10	この閉じ込めとしてのバウンダリーを成立させるために必要な請け合いの防止フックとかそういったようなロック機構とかですね、については、
2:11:21	違う。
2:11:22	ファクターの具体的構造説明グループいいですよ。
2:11:30	今言われているのは、この地震時に落下しないとかっていうことも含めて、取り込みのバウンダリー維持のためには、今回説明しないといけないんじゃないかという質問ですかね。
2:11:41	その通りです。
2:11:49	はい。ちょっと考えます。はい。
2:11:56	常時閉だということで常時閉の状態がここで確立されれば、特段今回大説明グループ1で、細かい構造までやらなくてもいいんじゃないかと思って飛ばしましたが、
2:12:07	常時閉である状態が、地震時も含めて、ここにちゃんといてくれないと、閉じ込めと車のバウンダリーの形成が、
2:12:17	できないと、そのために必要な要件だということであれば説明グループ1に説明する必要があるんじゃないかと思しますので、ちょっと事実関係も含めて整理をした上で、
2:12:28	このあたりどうを説明していくかは整理をさせていただきます。
2:12:33	はい。
2:12:35	そういう意味だと、常時閉っていうところで、何頭のタイミングで買いになる。

2:12:42	時もあると思うんですけども、
2:12:44	そういう意味だと、会議した時って、
2:12:49	ボリュームが変わるわけですよね体積が、容積が、そうした場合に、換気設備とか、
2:12:55	あとはその躯体に認められる閉じ込め機能、
2:12:58	ナカイ排気量機能とか、
2:13:01	そういう要件も変わってくると思いますので、会議した時についても、コア考慮した方がいいのかなと思いますので検討よろしくお願いします。
2:13:11	はい。乳井ニシウラでございます。今おっしゃっていただいているオープンポートボックスも含めて、
2:13:19	繋いでいるものが、粉末缶とかが隣から隣に移動する時にシャッターが開いたりすると、
2:13:26	そういった開口部ができることも、
2:13:29	考えた上で、換気設備のシステム設計側では風量の設定をするというのが前提になりますので、この5月の維持って意味では、換気設備側でそれもちょうと考慮した上での設計を説明するという事で考えてます。
2:13:45	今、甲斐になった時に何らか、閉じ込めご案内として何か新たに考えなきゃいけないことがほかに構造上あるかと言う点があるかないかは、もう一度確認をしますが基本的に、
2:13:58	複雑の話のほうで担保できているというふうに思って、
2:14:05	はい。
2:14:06	そしたらそういった内容を、橋渡しになるかもしれないけど、この
2:14:11	機械は、
2:14:12	こっちに展開するっていう話で、ビーク付けは適切にしていただければと思います。
2:14:19	はい。広井イシハラでございます。はい。一応いたしました。
2:14:38	とりあえず、グローブボックスまで私からは以上です。
2:14:50	山内です。
2:14:53	わかりますでしょうか。
2:15:03	切りは最初に、管理の部分で、
2:15:11	わかりますでしょうか。
2:15:15	規制庁の藤村です。再処理の後、管理の方に移動したと思うので私から何点か確認したいんですけども、まず、分類下方
2:15:28	けど、141ページのところで、

2:15:32	共用の部分、最初に廃棄物管理の共用の、
2:15:37	海野采美さん、はいさんのところに書かれてるページング装置って、SAでは使わないものかどうか教えてもらえますか。
2:15:49	はい。郵便イシハラでございます。はい。ちょっと確認します。
2:15:56	そうですね、通信連絡設備、SAでもDNSとコラボして読み込んでいたところが、
2:16:04	日本で、
2:16:05	事実関係確認をしますはいすいません。
2:16:10	清町の藤原ですよろしくお願いします。水についたのはそこだったんですけどそれ以外にもデータベースへの整理、せっかくきちんとされているので、技術関係とあったものにしていただきたいので全体的に見て、整理をお願いします。
2:16:26	ブルーのところでは私からはこれだけなんですけどもその他規制庁側から分類で何か確認したいことある方いらっしゃいますでしょうか。
2:16:39	特にないようですので、規制庁の藤原です。
2:16:43	グループの方の確認をさせていただきたいんですけれども、
2:16:48	今回後ろの方にリストもつけていただいたので大分見やすくなってきたかなと思っています。143 ページの
2:16:59	グループ 131 の部分なんですけど、結局、建物の耐震関係って全部ここでやることにしたのか、どうなのかっていったところ
2:17:11	関係等別の説明グループで説明を行う関連条文で 53 条 50 条の緊対の設置っていうのが入っているのでもっとわからなかったんでそこを説明していただけますか。
2:17:22	はい。由井ニシウラでございます。はい。
2:17:25	まず、
2:17:26	グループ 1 出た、耐震関係説明することにしたのかはイエスです。はい。あとは、
2:17:34	隅括弧の書き方のセンスの問題な気がしますので、整理をしたいと思います。はい。
2:17:40	規制庁のフジワラですわかりました。次に
2:17:45	耐震関係の 1. ニイツも含めてこちらでやるようになったということは、
2:17:50	という回答だったと思いますので、次にアクセスルートのお聞きしたいんですけど、ちょっとアクセスルートの進み方結構多いので後ろの方でまとめられている部分を見ながら、
2:18:02	何の話をしているのかを説明いただきたいんですけど。

2:18:06	171 ページ
2:18:10	ここにアクセスルートの隅括弧の部分、トピック
2:18:14	られてるのが、
2:18:15	まとめたときに四つあるんですけど、まずオカへのアクセスルートの確保。
2:18:20	構成溢水除くなんですけど、あとアクセスルートの確保の外的事象、
2:18:26	アクセスルートの確保内の事象で 1.2Ss機能維持アクセスルートってあるんですけど、
2:18:35	まずこれの住み分けを説明していただけますか。はい。
2:18:39	はい。乾瀬谷でございます。はい。まず、
2:18:48	うん。
2:18:51	Ssに対して考えなきゃいけないこと 1.2Ssの話をも先グループを今は、
2:18:58	一部分けようかということも考えてました。
2:19:02	ということです。グループ 1 のところは、屋外のアクセスルートの確保は、これどちらかという、ですね。
2:19:12	北海道アクセスルートで考えなきゃいけない自然か自然現象とかの話ピックアップしてやろうと思ってました。
2:19:20	その中で地震はフクマとかフクマないのかも整理がまず十分できてないと思ってますということです。
2:19:27	あとはいっぺんにSsの時のアクセスルートの整備をグループ 3 に分けてます。これが
2:19:38	対処との関係でその機能をどう維持しなきゃいけないかというのがグループさん側での説明になるということを考えていって 2Ss-Nアクセスルートの機能維持はグループ 3 にしてます。
2:19:51	アクセスルートの確保の内の事象のグループには何なんだというところについてはこれ
2:20:00	アクセスルートに対しても、溢水なんかの事象を考えなきゃいけないということで分けたんですが、
2:20:08	これを 1.2 との関係がまだ整理できてないなというところですねはい。ちょっとその辺が、ちゃんとすみ分けが整理、説明できるように、もう少し検討を深めますはい。まだちょっと、
2:20:21	中部、中途半端な状態になっているところが一部ありますので、はい。
2:20:27	規制庁の藤原です。はい。先ほど伝えがあつたくせ精度の確保の内の事象であればその井清のこと考えるとかっていうのでちょっとまだ整理されるということですけど。

2:20:40	その場合にはちょっとこれ整理され
2:20:43	た金を全部、
2:20:44	上の方に書いてあったりするんですけど、1セガワのところで、アクセスする分とかの話があるのかっていうとそれが読めるかという読めないような気もしていて、その辺の整理も含めて、
2:20:56	していただきたいと思っていますが、認識いかがですか。はい、上西でございます。はい。いえ。
2:21:03	いただいている通りだと思います。はい。まだ。そうですね。ええ。
2:21:10	説明グループの説明をしてる横で並行して、
2:21:16	一斉の、
2:21:18	資料2、3を作る上で前提の整理をしている時点で、多分、変更作業になってますので、その辺の最新の状況をちゃんと反映するということを、
2:21:29	含めて整理をさせていただきます。
2:21:31	前回の水のDBの整理ですかね。
2:21:37	検知漏えい、漏えい先の検知系だったりというのもちゃんと認識をした上で、設計を考慮しなきゃいけないと。
2:21:48	いうことを説明してましたってことはそこにもアクセス精度が当然あると、設計上考慮しないといけないってこと明らかになってると思いますので、その辺をまずそもそも、
2:22:00	150ページとかの説明項目の中でしっかりとまず立てなきゃいけないということかと思います。はい。その上で、
2:22:09	DSAとの関係でどう説明していくのが最も合理的か。
2:22:13	いうことを整理していくということでさせていただきます。
2:22:18	市長の内村ですよろしく申し上げます。
2:22:21	ちなみにさっきの1.2隻の時のアクセスルートの方っていうのは、
2:22:27	建物部をグループ1でやるのと切り離せるもんなんでしょうかSAでの対処とかでの機能っていうのを考えた上でこちらにされているのかなと思いつつも、建物、
2:22:42	この整理の関係できちんと整理がつくのかっていったところを気にしてるんですけどいかがでしょうか。
2:22:48	はい、西尾でございます。はい。
2:22:53	ナカナカせ切離しが難しいとは思ってます後はももとの説明グループの設定的に考えてた。
2:23:01	説明対象のボリューム感ってところを考えるとどうか切り分けられないかなと思ってるのが現状の検討内容です。はい。

2:23:12	切り離しができないのであれば無理やり切り離しても説明成立しないので、そこは合体しないといけないというのは認識はしてますので、整理を進めたいと思います。はい。
2:23:24	規制庁の藤原です。よろしくお願いします。ちなみにその考え方の文書のところそのボリューム感って読めるんですけど。
2:23:33	はい。乳井の石田でございます。はい。
2:23:35	共通 12 の本体には書いていたのでそれも。はい。あわせて、
2:23:40	記載をしたいと思います基本的にもともと考えたそのどれぐらいの説明グループの説明。
2:23:46	範囲というか、ボリュームがですね、あまり
2:23:50	なんていうんでしょう、現実的なものにはしたくないなというところがありましたので、そういったことも一応、あの考え方には入ってます。はい。
2:23:59	市長の藤原です何、こちらの説明でも少しそれが読めると、実際、
2:24:06	この、こっち側に、
2:24:09	とりあえず入れてるってということとかも、にも繋がっていくのかなと思うので、その辺りも、
2:24:14	表現していただけた方がいいかなと思います。続けて、
2:24:20	等、
2:24:22	すいません。
2:24:24	36 条関係の隅括弧で、16 条 36 条なので 169 ページ。
2:24:31	のところにある、操作性試験検査性のところなんですけど、この操作性は操作場所っていうのは入ってるんですか、それともアクセスルートの方にそっちは入るんでしょうか。
2:24:43	はい。新美西尾でございます。はい。私の持ってた 1 考えは、アクセスルートに入るのかなと思ってました。ただ実際の設備自体の操作性の話が、
2:24:56	36 条としてみれば、入ってきますので、それと、
2:25:01	操作場所の環境そのものを、を分けて説明するっていうのは、あまりもう、
2:25:07	ナンセンスですね。はい。
2:25:10	ていう気もしますのでそこも整理をします。はい。
2:25:14	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。その際に、一応これがだからグループ名になってるかも含めてですかね。はい。はい。
2:25:25	おっしゃる通りだと思いますので。はい。

2:25:28	グループさんでやらないとイメージとして合わない気がしますので、そこも含めて入っている。
2:25:35	規制庁の藤原です。あと、これはちょっと具体的に、
2:25:41	どういった設備かが、頭に感じないので1点確認したいんですけど。
2:25:46	171ページの、
2:25:48	溶出抑制の部分で、最市の建物が入ってくるんですけどこれって何をイメージされてますか。
2:26:01	はい、由井西尾でございます。
2:26:06	水チョウキュウなら水の容量が、
2:26:10	ずっと一緒になってる六ヶ所。
2:26:13	聞いている。
2:26:18	はい。
2:26:20	はい。日本原燃シミズちょっと確認させてもらっていいか。これ水かけた時に建物が変なことにならないかっていうことを考えていつているのか。
2:26:27	ちょっと確認してください。
2:26:29	はい。はい。
2:26:34	病院長の千葉です確認していただいている間に、もう1点聞きたいんですが、
2:26:43	引退のところ、2、
2:26:46	緊急時対策。いや、170ページのところに、SAの情報把握と、通信連絡を行う設備っていうのがあるんですけど、
2:26:58	これがもともとの表になった時、
2:27:02	2、関係する、別のグループで説明を行う関連条文のところに、計装とか、
2:27:09	通信連絡設備の関係って入ってこないんでしょうか。
2:27:14	はい、乳井西様でございます。
2:27:21	そうですねはい。おっしゃる通りですね。そう。私のイメージも情報把握の設備っていうのが
2:27:31	端末側の話とそれを飛ばす話し後はそれをもとにある情報をキャッチアップする計装との関係っていうのがリンクして説明しないと全体の説明ができないという気がしますので、
2:27:44	向こうも、先ほどの話と同じように整理をさせていただきます
2:27:49	検層は継承としてその機能も含めて説明して、あくまでこの
2:27:53	教授、勤怠としての情報を把握する、もしくは所をどっかに伝送すると。

2:28:00	言ったことだけを説明するってこともできないことはないかなという気はしていますが、はい。
2:28:08	清町の藤原です。はい。整理をしていただく際に今、警察、通信連絡言いましたけど、監視測定なんかも関係すると思うのでその辺も含めて整理をしていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
2:28:24	はい、西浦でございます。はい、ありがとうございます。例えばですけどやり方としては、同じ関連性を持って一体で説明するか。
2:28:35	その情報をキャッチアップする側、その側としての構造設計なりの説明ってのはその前のグループでやった上で、それを前提にして、
2:28:44	連想系の情報科学としての設計を、5グループでやるってことができないことはないかなと思いますんで、こういったことも含めて、整理をさせていただき、
2:28:57	規制庁のフジワラそうですねグループ法がちょうど清潔勤怠なのでそういった整理もできるのかもしれないので、
2:29:04	全体として整理していただけたらと思います。
2:29:07	グループ関係のところ、確認は私から以上なんですけども、規制庁側から他ありますでしょうか。
2:29:17	規制庁コサクです。内容じゃないんですけど、
2:29:22	介護資料長いんですよ。
2:29:25	はい。
2:29:26	よくわかんなくなっちゃうので、リード文で、
2:29:29	基本割なら終わりかもしれないですけどはい。
2:29:33	はい。もう、その意味だとリード文が雑なので、結局、長い表を見ないといけなくなってしまうことだから、
2:29:45	どっちでどうすんのかよくわかりませんが、
2:29:52	ちょっと整理をしていただきたいなと思うんですが、例えば 165 ページ、※でいきなりこの長い表の後の後に、
2:30:00	米だけで 1 ページ使ってるんですけど、
2:30:03	これって、
2:30:05	リード文に埋め込んでそれで説明がし切れるっていうふうにはならないんですか。はい。はい。
2:30:15	はい。そうですね。
2:30:17	143 ページからの表がなくても、全体の骨格をどう考えてグループを設定したのかがわかるような、はい。リード文を拡充して整理をします。
2:30:28	はい。出野さんにおっしゃっていただいたように、

2:30:33	165 ページの話も埋め込んで、展開をすることでそれぞれの説明グループの単位をどう考えて、どういったものをその中で説明するってことを考えているのかと。
2:30:44	ということがわかるように、整理をします。はい。
2:30:48	はい、迫ですよろしくお願いします。166 ページ以降については湯原から、
2:30:56	わかりやすくなったというふうにコメントがあったところでなんですけど。はい。あるのはいいんですけど、参考じゃないすかね。はい。
2:31:06	新美石田でございます。はい。組織、つけるかどうかを、共通中にあればいいかなっていう気もしてたんですけど。はい。参考でおつけします。はい。
2:31:19	はい。あ、ごめんなさい。それで別添で付けるのは共通 12 のうちのどの範囲になるんですか。本文、参考資料、別添の、そうですねそういう意味でいくと設定説明文とか説明グループのやつもセットで作るので、そちらにつけますかね。
2:31:36	設定の中で、
2:31:37	はい、細田です。わかりました。それであればそういう整理をしていただいて、先ほどのMOXの方の話と一緒に、別添の方のものをやたら付ける必要はないということで整理をしてください。
2:31:49	はい、西田でございます。はい。ありがとう。
2:31:58	シオヤヤマグチです。そっか、介護資料に関して成長を図る。
2:32:09	よろしければ、
2:32:12	はい、どうぞ。はい。
2:32:16	所詮六ヶ所オオニシけども先ほど確認させていただき、といった見解とさせていただいてもよろしいでしょうか。
2:32:24	お願いします。
2:32:26	はい。日本原燃清水です。先ほど、44 条ですね。
2:32:32	建物構築で何が該当するのかっていうところで、まずは台帳看護助手以上の方を、調整槽の一部をなす建物として、関連する設備としてエントリーしてございました。
2:32:49	タダノ経路ってこと。
2:32:51	はい。
2:32:52	宮城吉井です。はい。
2:32:55	やって考えようか。
2:32:56	うん。説明した対象にならんのじゃない気がするんでは、

2:33:01	藤原さんの質問も含めてちょっとここの記載とかグループの対象をどうするかは考えます。はい。
2:33:09	市長の藤尾ですよろしくお願いします。
2:33:14	はい。二宮でございますそれでは、
2:33:18	2 ポツのところの審査会合資料の振り返りでございます。はい。
2:33:24	まず 51 のところ、その後ろの、
2:33:28	ページとの関係性も含めてしっかり一つ一つの項目に対して説明をしていくと。
2:33:34	いうことで整理をさせていただきます。
2:33:37	その際には、五十三、四についてページとの関係であったりあと 5556 呉のページで、あとは他に何かつけるものっていうのは当然、
2:33:49	市場分ではないにしても、設備の構造上、
2:33:53	説明しないといけない、骨格の上部にあるものっていうのも含めて、このシートを作って、全体カバーをしていくということ。
2:34:02	はい。と、あとは、50、
2:34:06	505354 も全体 1 ポツの位置付けですとか、というのはリード文であるものも含めて全体の整理をしていくということ。
2:34:15	あと 52-2-3-2 のところのパーツも含めて、これは流動分との関係で、どういったステータスなのかがわかるように定義をさせていただきます。
2:34:27	はい。で、この後の本体への説明の趣旨というものは、
2:34:34	どういったものなのかがわかるように 57 ページ、58 ページの人数も含めて全体対象として、この後選ぶものとの関係をですね、
2:34:47	丘陵部の中に入れて整理をさせていただこうと思います。
2:34:51	59 ページ以降については、対象となるものをピックアップして、整理を、台数を限定していきたいと思います。
2:35:03	はい。
2:35:04	なので目次も含めて全体はベップ側にあり、本体として審査会合の説明の骨格をなすものを、本体側のパワーポイントに入れていくということで整理をさせていただきます。
2:35:17	はい。あとは、
2:35:21	ここのパーツであったのは、火災の防火ダンパの話、防火シャッターの話ですねこれグループ全体の説明範囲を今一度整理をさせていただきますという、

2:35:31	防火シャッター学会になった時の、フロアフェリーとの関係換気設備のシステム設計とのリンクを整理をして記載を拡充します。
2:35:41	はい。あと配置設計側も、9 ページ、5 ページだけ残してオカベ物件側で設定し、関係のシステム設計も同じように、
2:35:52	対象になるものをピックアップしてそれ以外の物件側で説明ができるようにしていくと。
2:35:57	ということで整理をさせていただきます。はい。
2:36:02	というのとあと最初の設計説明分類、説明グループの話についても、
2:36:10	もう 140 ページ 141 ページのところは説明分類の話です。441 ページの、
2:36:18	ページの例にご指摘いただきましたが本当にBだけかということについては、
2:36:24	他のものも含めて一通り確認をした上で必要な修正を加えたいと思います。
2:36:31	はい。あと 142 ページは、この 143 ページ、この表がなくてもどういうふうなグループの設定をしてどこのグループでどういうことを説明しようとしているのか。
2:36:42	というのがわかるようにイセアノ拡充をしていきます。
2:36:47	あと説明グループの徹底の中の考え方に、ボリューム感はグループごとのボリューム感のある程度平たん化というか
2:36:55	いうのも含めて考えてるんだということがわかるように整理を、各記載を修正をさせていただきます。
2:37:03	はい。
2:37:06	165 ページはそういう意味では先ほどの 142 ページところは、ジョイントする形で何か整理をしますということと、
2:37:14	166 ページ以降は、少なくとも、共通時の本体側に持っていくという
2:37:22	そちらで説明するようにする。
2:37:24	にさせていただきます。
2:37:27	はい。
2:37:29	以上です。
2:37:32	規制庁コサクです。はい。すいません。ちょっと含まれてるのかと思いつつ、話をちゃんとしてなかったのが、53 ページなんですけど。はい。
2:37:42	1 ポツのところろを、内容変えてねっていうことをお話をし、内容というか扱いというか、こう書いてねっていう話はしたんですけど、その際に灰色等、

2:37:55	のハッチングの部分だけの話をしたんですけど、白抜きの部分って、
2:38:01	どういう扱いなのっていうことなんですけど、第8条の外部衝撃なんて、第1回でやってる部分はあって、他もやってる部分もあってと思うんですけど、
2:38:12	その点はちゃんと書かれるっていうことでいいんですよね。はい。はい。おっしゃっていただいている
2:38:23	その意味合いを、今回の対象だけではなくて他にも含めて展開をしたいと思います。はい。
2:38:31	はい、細田ですよろしくお願いします。
2:38:36	室長の浦ですいません1点だけ伝え忘れたので、先ほどの最後の表のところなので全体的に整理をっていう中に入るんですが、悪影響防止についても、今まだ整理が、前回のヒアリングで、
2:38:50	お伝えをしているものの整理がついていないと思ってます。影響として考えているものと、影響を与えると思って、衛藤を持っている対象。
2:39:00	ものっていうものの整理がうまくついていないので、それも含めて整理をお願いします。
2:39:06	はい、与儀石原でございます。はい、ありがとうございます
2:39:11	手が届いてない部分だと思いますのではい。整理を進めます。
2:39:18	はい。
2:39:24	はい。
2:39:25	他にに関して、
2:39:28	ヤマダ、
2:39:30	やっぱ、
2:39:33	規制庁コサクです。ごめんなさい。
2:39:37	大分宿題が多いんですけど、介護資料の提出時間を考えると、
2:39:44	できない部分もあるような気がするんですが、
2:39:47	そのあたり、
2:39:48	はどのなるかっていうのと、できたら対応状況としての整理が未作って、
2:39:57	進め方た。
2:40:00	ヒアリングの資料として、
2:40:04	提示いただけるといいかなと思うんですが、いかがでしょうか。
2:40:09	はい。
2:40:10	弓削西田でございます。はい。今言われたのは私の理解としてはアサノ今、

2:40:15	午前中が修正版の提出II
2:40:20	比率になってますが、今回の修正ポイントを考えるとですが、全部できなかった可能できない場合の可能性を考えると、
2:40:30	資料提出時に間に合ってるものを後、それを今どういう状況でやってるかっていう作業状況を、
2:40:37	明日の夕方ガス、今後の進め方ヒラノ資料の後ろに付けてお出しをし、
2:40:46	この後、最終版をいつ出せるかも含めて、そういった意味では、ちょアノ、
2:40:53	自分たちのステータスを明らかにすると、ということですか。
2:40:58	はい、細田です。そうしていただけるかと思えます。
2:41:02	はい。与儀ニシウラでございます。
2:41:04	しました。
2:41:07	山口です。はい。議長からありますでしょうか。
2:41:14	よろしければ、これでヒアリングを終了しますので録音
0:00:00	はい録音化しました。
0:00:04	はい、規制庁神戸それでは午前中に引き続いて再度ですけど地盤関係の会合資料についてヒアリングを行います。規制庁側の出席者変わりましたは、本庁側からハセガワハバサキ。
0:00:18	Webさらカミデ部冊です。原燃下はまず出席者の紹介をお願いします。はい。日本原燃の郷でございます。こちらの主
0:00:29	記者でございますけれども、全部チームからケツクとそれから6課長で、主務のヤマグチが今参加してございます。以上でございます。
0:00:43	はい。普通パミスとそれでは、あれですかちょっと本庁側で音頭とつても、ちょっと進めていただければ市長の長谷川ですけど、午前中、趣旨は、
0:00:53	午前中の確認で、その過程で幾つかちょっと再確認というか、認識をきちっと合わせといた方が、
0:01:06	いいのかなという点があったので、ちょっと改めて全体、
0:01:11	増の、確認をさしてもらいたいと、ということなので、私の基本的な認識を、
0:01:22	話すので、合ってるか。
0:01:25	違ってるかっていうところを、
0:01:28	確認すればいいのかなと思っていて、あと午前中の会合からすると、規制庁内でももしかしたら少し、

0:01:39	人しきいにずれがあるのかなっていうところと、それと原燃も、言葉の使い方は含めて、ちょっと認識のずれが、
0:01:51	あったかないのかを確認をしたいということなんで、まず基本的なすごい大ざっぱな話としては、そもそも、
0:02:03	入力地震動の策定の過程では、当初の地盤の
0:02:12	作り方っていうのは過去の既認可のやつをそのまま持ってきたんで、これはよろしくないよねということから、改めて、
0:02:24	初心に戻って、データをしっかりそろえて、
0:02:30	そのデータをしっかりちゃんと見つめて、
0:02:38	技術的に、
0:02:41	根拠を持った、うん。
0:02:44	モデル、入力地震動の策定を1からやり直しましょうというそういうことで、もともと持っているデータが、
0:02:55	追加のボーリングデータだとか地震観測記録だとかっていうのが、いくつかあり、ありましたと。さらにやっぱり足りないものも、
0:03:05	あったんで、PS検層もう1回、ボーリング掘って、13ヶ所、
0:03:14	そういう記録をやっぱり新たに追加して、それらすべてを、
0:03:21	使って、最終的に地盤モデルを
0:03:27	なり入力地震動を策定しましょうというそういう、まず立ち、
0:03:33	一位であったという。
0:03:36	ことで、ここまでいいですかね。
0:03:39	はい。そういうございません。
0:03:41	で、
0:03:43	つづ聞い的には、なので、今、検討の、
0:03:49	家庭であると。
0:03:52	いうことで、
0:03:53	すべてのデータがまだ出揃ってないので、最終的にはなくて、今、いろんなものから、途中経過。だからここは事実の積み重ね、
0:04:06	の段階でしかないと、だから余計な考察みたいなのが、考察というレベルではない。
0:04:15	事実としてこうだというのが、
0:04:18	説明上の基本的な内容になると。
0:04:22	いうそういうことでいいですかね。
0:04:25	今何か確定できるものは、

0:04:28	別の言い方をすると一つもない。
0:04:33	はい。元ノモトでございます。確定できるものと確定できる一番例えば地盤のモデルを作る上で、
0:04:44	そのモデルに使う、
0:04:50	2次元でやるのか、1次元である表現するのかとか、その構成のパラメーターだとか、練習のパラメーターとか、そのある解析をするにあたって入力する、各種のパラメーターはそうです。
0:05:05	すべてへまだ白紙の状態である。はい。それは背弧ニシノ通りです。はい。
0:05:11	という檀家いいであるということで、
0:05:17	で、今回、はい。まずやって、今回のやっている中では、そもそも中央地盤等伝達関数、
0:05:27	要するに、伝達関数とシミュレーションの関係っていうのは、地震観測記録があるので、
0:05:35	その地震観測記録、
0:05:39	のに合う。
0:05:42	ように、仮に地盤のモデルを作ったとしたら、こういうパラメーターをセットすると。
0:05:52	比較的、
0:05:55	再現性がえられるという、何ていうかな、仮というより、
0:06:01	仮想的というか、
0:06:03	ある合わせにいったモデルという状態。
0:06:09	はい。はい。
0:06:13	はい。おっしゃる通りです。はい。
0:06:15	中央が比較的簡単にそのモデルの再現性がえられたと。なるほど。はい。で、ということだったと思うんですね、伝達関数の話に関しては。はい。
0:06:30	さらに別の見方の地震は干渉法によってこれは減衰だけを評価してあげましょうということで、伝達関数でとシミュレーションの
0:06:43	ものとは全く異なる方法をなので、はい。
0:06:50	これはだからモデルも、はい。地盤の剛性とかそういうのが、まあまあほぼ関係なく、単なる波の干渉ごうという世界ではあります。はい。
0:07:00	で、これも比較的、うまく。はい。江藤。
0:07:07	問題なく、一般的な手法にのっけて、出てきましたと。というのが中央の話であったと。あくまでそこは、

0:07:18	やった結果でしかないというのは中央も今同じであると。はい。
0:07:25	で、1上、
0:07:27	ヒガシ地盤をやろう、同じ方法でやろうとしたら、はい。
0:07:33	まず、地震は干渉法をに関して、中央と同じやり方をとったら、はい。
0:07:41	あまりうまくいかなかったと。
0:07:44	はい。ていうことで、これは何なんだろうと、いうことでは形に立ち返って見ていくと、当初ノイズがすごい載っているんじゃないかとか、要するに、
0:07:57	表層の部分が、地下から上がってくるレベルに比べてかなり大きい。はい。観測記録だったんで。はい。
0:08:08	実は本当にこれは、
0:08:10	正しい記録観測記録なのかどうか、なのかよくわからなくなってきましたと。うん。ていうのが1点。はい。ありますと。はい。
0:08:21	さらに、
0:08:23	ちょっとここ推定入っちゃうんですけどさらに伝達関数とシミュレーションの方でも、
0:08:30	中央と同じようなやり方をしたんだけど、すんなり綺麗には再現替えられなく、
0:08:40	られなかったですと、はい。
0:08:43	いうことで、いろいろ工夫はしてみたものの、
0:08:47	フィッティングが非常に難しいというのが、まず当初ありました。はい。その二つを、
0:08:57	ちゃんと観測記録が正しいものであるかどうかというところに、ちゃんと立ち返って、はい。まず確認しましたと。
0:09:08	そこでまず、地震版の観測記録は様々な、ここに書いてあると、構成だとか、その以上の話とか、
0:09:20	ロジビードだとか。はい。波の形とか、いろんな様々な
0:09:26	面から見たときに、
0:09:29	観測記録自体はおかしくない。うん。そうすると、何か構造的にあるんじゃないかという。そういうところで、
0:09:38	取り付けている。
0:09:40	地震計を取り付けている地盤の構造とかそういうところを聞いてきましたと。
0:09:51	いうことで、そうすると、中央地盤というのは、もともと、割と何て言うのかなシンプルなはい、ライン、

0:10:01	構造、地下構造的にはシンプルなラインになっていてさらに表層文字甘アガワで、比較的かたい、いいところについて、
0:10:12	途中で変な剛性が変化するような、コントラストが大きいようなものがないので、干渉法なんかもうまくいってるし、藤知、
0:10:24	普通の構造もシンプルなので、割と伝達関数もうまく表再現ができてたんだらうと、一方でヒガシの方は、
0:10:37	次、次山に乗ってなくて、モリノ方に、
0:10:43	表層の、
0:10:45	地震計がついていましたと、結構やわらかいって、その下の地震計のついてるものと、途中で大きな
0:10:54	剛性というか、硬さが随分変わって、コントラストインピーダンス比が結構高く出ちゃってるので、干渉法がうまくいかないのが、ここにあるんだらうと。
0:11:08	ということでそれは波だけの問題だけど、
0:11:12	ていうことで、これはもう、もう無理だと、ということで名波がね、何て言うのかな、
0:11:21	波同士の因果関係というか、あれが少なくなっちゃってるんで。はい。非常に厳しいということでこの
0:11:30	もう無理だという結論に今回、明日で一方で、
0:11:35	伝達関数とシミュレーションの関係というのは、
0:11:41	地震計がついてる構造を見ると、中央地盤よりちょっと複雑というか、
0:11:52	この図がすべてを表してるわけじゃないんだけど、今回の通録みたいに、普通で断層が跨ったり、
0:12:02	地質境界的に、何かをちょっと図、
0:12:08	あまり綺麗。うん。中央に比べると、あまり綺麗じゃなくて、ちょっと複雑というか、ちょっとなかなか。うん。
0:12:19	シンプルふうなところには載ってないので、いろいろ考えないといけないなということが、今回、
0:12:29	8 ページ、9 ページ、10 ページとか、そういったところの説明になっています。
0:12:37	ということで、はい。で、そういうことがわかったんで、
0:12:42	それらをちゃんと考えて、
0:12:45	中央と同じように、伝達関数、市の収益シミュレーションっていうのをやる必要があると、ということと、
0:12:56	地震は干渉法に関してはこれはもう無理だと。

0:13:00	ということで断念をしていると。
0:13:03	しだし伝達関数とそのシミュレーションの関係なんだけど、
0:13:08	少なくとも、
0:13:10	8 末等、
0:13:12	ある観測記録の集合体を平均的に要はある種の、ここにターゲットスペクトル。
0:13:21	はい。を作って、そこに合うように、はい。
0:13:26	なあ。
0:13:28	1次元で1次元モデルでは合うように、パラメーターのデータセット数を、いろいろ考えて、
0:13:38	作っていったら、図9の、はい。ようなイメージの。
0:13:45	モデルを作ると。
0:13:48	18とかね、18とか19を使って、
0:13:52	作っていくと。
0:13:54	比較的、伝達関数も再現性というか、ターゲットスペクトルに似てきてるし。はい。応答スペクトル呉で見ていくと、かなり
0:14:09	形的にも、レベル的にも合ってきているので、
0:14:15	このぐらいの
0:14:18	モデル。
0:14:19	呉であると、再現ができると。ただしこのモデルっていうのは、単に合うように作っただけなんで、
0:14:28	こいつが、こいつがええと、
0:14:31	いろいろこれから、今まで持ってるデータや、今やっているS波検層でとか、まだ地質の衛藤。
0:14:42	何、何ていうかな、補正だとか、僕はもう、
0:14:48	データ、
0:14:49	取れるわけだから、そういうのと最終的に見たときに、
0:14:53	このモデルっていうのは、ちゃんとしたが差異があるデータなのか。
0:14:58	パラメーターがあるかって言うのは、これからの話なんですと。
0:15:03	ここは今回までは、単に同定して、はい。すごい荒っぽい言い方をすると、合うようにパラメータをセットしたら、このぐらいの数字使ったらありますと。
0:15:15	いうレベルでしかなくて、今は多少はね、いきなりこうね、

0:15:21	ゼロからスタートじゃなくて、持ってるデータを横目で見つつ、大体このぐらいだったら、
0:15:28	かなっていうふうに、はい。調整はしてるんだけど、だからそういう意味で、今日の説明の中の 20%っていうのも、大体下支えとして使えるレベルが、そのぐらいの振れ幅だったら、
0:15:43	これまでのデータから、どうせ触れちゃうよねと。
0:15:47	なのでそのぐらいの感覚でやっただけ。
0:15:50	であって、それは別に中でも、15 年も 20 でも 25 でもしかしたらよかったかもしれないっていうだけ。で、あまりそこに大きな意味はないけど、そんなに別にずれてない。
0:16:02	数字ぐらいで使いましたと。うん。
0:16:05	いう。
0:16:07	そんな間架空の状態が今、今回何ですかっていうと、ちょっと一旦ここで、
0:16:15	はい。はい。
0:16:16	はい。経年ノモトでございます。はい。おっしゃっていただいた通りかと思えますんで、少し認識として、
0:16:26	我々持ってるのは今回さっきおっしゃっていただいたようにですね、今回の伝達関数での再現結果っていうのは、確かにこの
0:16:36	パラメーターを合わせ、
0:16:40	た同定結果、ということになっているので、数値的に、合わせ込んだものだよねっていうのは、ある意味おっしゃる通りだと思います。
0:16:53	多田公園のですね、意味合いとしては、この物理的にどうやら取りそうな、そのデータの阪急内で、
0:17:05	どこが一番、物理現象である観測記録をきちんと再現できるかっていうのをどうでした結果だということで、物理的にそれなりに最もらしいところを、
0:17:18	この手法でもって、1 回ちょっとやってみたと、いうことなんだ、という意味合いにはなるんだろうと思うので、これが全く物理的意味がないというわけではなくて、衛藤、こういう手法の切り口でいけば一番最もらしいところはここですと。
0:17:32	いうことをお示したという位置付けになるのかなというふうに思っております。市長の長谷川ですけど、多分そのところをもうちょっと、

0:17:41	詳しくというか、ちゃんと思ってないといけない。山元さんの基本的な考えは、もう持ってる意味っていうのは、そもそものパラメーターを適当に、今回セットしたわけではなくて、
0:17:56	今持ってるDたから見て、はい、使えそうな範囲はいいとしてやってますと、よって、一定の物理的意味は持っているんですと、いうそうそういうことだったと思うんですよね。はい。すみません。
0:18:13	それがすべてではなくて、これからいっぱい他の場所でも出てくるんで。はい。
0:18:19	その人たちは最終的に全部見ないといけないということでは、決定されたものではないけれども、
0:18:27	およそ、
0:18:29	今持ってるデータからすると、そんなに遠くないデータの範疇にはあって、一定の物理的意味は持っている。はい。0ではなくて、50からね、60かわからないけれども、
0:18:43	という、そういう程度のものであるというそういう認識でいい。はい。そこはおっしゃる通りですはい。うん。
0:18:51	多分、今のところがとても重要。はい。なんで。はい。
0:18:57	僕らもそう。はい。全く適当ではないけれども、また決定したもので使えるか使えないかっていうのは、まだ一部のデータしかその下支えをもって、うん。それから全く違ったデータが出てきちゃうし。はい。
0:19:12	いずれにしろそういうものが出揃って最終的にもう1回それちゃんと、
0:19:20	このセットしたものが妥当がある性があるかどうかっていうのを最後に決めると。はい。いうのはそういうことでいいですか。はい。それはおっしゃる通りで、
0:19:30	これが物理的なこういう切り口では物理的意味のあるものとして、我々セットはしたけれども、ただこれが最終的なものではなくて他の切り口でのデータも全部出揃った上での、
0:19:42	決定すべきものであってその時にこのデータがどういうふうな立ち位置になるかというのはそのデータ全部見た時に、改めてそれは明らかに話なんであるということだというふうには認識でございます。はい。
0:19:57	大体、はい。
0:19:59	わかりました。はい。
0:20:00	で、
0:20:01	えっと、
0:20:02	基本的な流れはそれでええと理解したので、まず、

0:20:08	そういうところをちゃんと認めしながら、説明はしていただければ。はい。基本的な理解としては、動くとは、今一緒だったんで。はい。
0:20:20	金戸は思っていました。はい。
0:20:25	規制庁小関ですけども、今の河井わーの中で、まずは納得するんですけども、実は、
0:20:36	もうちょっと細かい話をしていくと、はい。
0:20:39	図の9っていうのは、あくまでもこれは地震観測位置であって、これから設定する設計用地盤モデルっていうのは、はい。また、
0:20:49	事務的に間違っていない。はい。ただ、例えば今ここでやっているのは、減衰の評価。はい。で、地震観測用いる。はい。そのための地盤モデルであると。はい。で、今言われたような、
0:21:00	ある程度の共通性っていうのは、減衰に関しては、はい。同じような岩種であったり、地層構造であれば、
0:21:10	他の中央地盤の、或いは東側地盤の4グループにも、
0:21:16	適用できるのではないかと。はい。
0:21:18	そのつながりはこれからのPS検層の追加試験をやったり等を含めて、考えていきますよ。
0:21:26	いう理解。
0:21:28	よろしいですね。
0:21:29	案件になってございます。その通りでございます。
0:21:37	はい。
0:21:43	はい。規制庁の長谷川ですけど。そういうことで、その辺りを、
0:21:49	13日の時に、ちゃんと
0:21:52	ロジック的には多分そういうことだと思うんです。はい。なのでそういう説明をしたりしていただいた方が、
0:22:02	はい、わかりましたんじゃないかなっていう、はい。
0:22:06	があって、だから、今の段階ではもともとそういうその程度の、まだ事実関係でしかない、ということなんで、基本はやっぱり事実関係だけを、
0:22:19	メインに説明していただく方が混乱なり、しないで済むんであろうと。
0:22:27	いう気はします。はい。
0:22:32	はい、わかりました。日本原燃抜けても、おっしゃってる意味がわかりましたので、全く勘違いしてですね
0:22:41	今の時点でやられたやつを、

0:22:43	日ヒガシ全体に提供できるんだよみたいなニュアンスでしゃべるよなことのないように、これから出てくるデータを全部踏まえて、総合的に勘案するといったスタンスは、今崩す。
0:22:55	段階ではないので、まだその段階ではないということは再確認させていただきましたので、このあたりでもってヒガシ全体をどうのこうのとか、そんな話では全然今ないというのを再認識させていただきましたので、
0:23:07	そんな説明にならないようにちょっと気をつけたいと思います。
0:23:14	確認は以上。はい。
0:23:17	他に
0:23:19	気になる原型なり、
0:23:22	大丈夫ですかね。同じ共通認識だったですかね。
0:23:26	はい。はい。規制庁の土岐です。
0:23:31	日本原燃、今までの規制庁等のやりとりを踏まえて何かコメントがあればというのとあと規制庁側も、
0:23:41	いやそうじゃないんじゃないとかですね、ものすごくもう少し詳しい細かい話とかですね、何、何かコメント等ありましたら、お願いします。
0:23:52	日本原燃ケツクですまず六ヶ所やマグチ何か質問とか、疑問点あったら、ぜひこのチャンスですんでお願いいたします。
0:24:05	はい六ヶ所側日本原燃山口です。今お話聞かせていただいて、
0:24:10	私も同じ認識
0:24:12	で、
0:24:13	ございません。はい。
0:24:17	規制庁浜崎です。規制庁5 はいかがでしょうか。
0:24:26	アノカミデですけど、何か今、徳田何かってということはないです。
0:24:34	はい、規制庁。
0:24:36	濱崎。
0:24:39	阿久津青柳です。古作調査官へは、何かコメント等ございますか。
0:24:45	特段ありません。
0:24:48	とりあえず、基本は、
0:24:50	はい。
0:24:51	はい。規制庁の長谷川ですけど、ここはもうこれ終わりで、
0:24:55	でいいです。はい。確認できたので、終了でいいよ。あとちょっと細かいところだけ確認させてもらいたいんですけど、これ、地震観測は、
0:25:05	△フィギュアで出る1秒。

0:25:11	観測記録を参照できる。はい。すいません六ヶ所がお答えできますか。
0:25:20	観測記録の時間刻みです。
0:25:27	すみません、少し待ってください。はい。六ヶ所オガワ日本原電ヤマザキ、申し訳ございません。ちょっと私もその、
0:25:34	地震記録が何秒刻みで、
0:25:40	幕府
0:25:42	規制庁のハセガワですけど何でこんな話をしてるのかって言ったら、やっぱりこれがすべての
0:25:50	例えば、図 8 の、
0:25:53	検討経過、要するに周波数とか周期特性の要はスペクトルを書いたりなんかするときに、すべてがそこで決定づけられているし、
0:26:05	あと地震観測記録の長さっていうものとの関係で、どっかで多分切っているんですよ。
0:26:15	そうすると、一般的に考えたときに、0.01 秒刻み。はい。で多分取られてる、または 0.05、
0:26:25	みたいところで取ってるかもしれないんだけど、それと、データの個数からの関係からすると、この地震観測記録の
0:26:36	これ 0 秒から 50 秒まで、
0:26:39	時刻歴は県が今、そこにそろってるんだけど、多分仕様質問みたいところが、
0:26:47	多分これもう、解析上、
0:26:52	4096 戸とか、8192 個、あと 80 秒だって長くなっちゃう人で、多分、もともと 40 秒。
0:27:02	要は 4096 という数字のところ、切ってるんじゃないかと思うんですよ。うん。そうすると、結局その範囲ですか。
0:27:12	何ていうかな、周波数得点からして、もう見れなくなっちゃうっていうのが、
0:27:21	ちょっとこういう端々に、ちょっとずつ気になるところがあるんで、これは多分、いわゆるデジタル解析は基本なんで、
0:27:33	そこの理解を含めて、絵を書いていただくのがよくて例えばご準備をほみ出しちゃってるけどなんだかつつても、もう 10 秒の世界石器からすると、例えば 0.01 秒刻み、多分 40 秒ぐらいしか、
0:27:48	観測記録自体はそんなに長くなさそうだから見ると、多分、
0:27:54	40 秒ぐらいしか見てないんだよね。そうすると 10 秒ぐらいの。

0:27:58	ナカセというのは、多くて3%4%しか入っていないというぐらいのデータの見方でしかない。
0:28:07	いう。はい。そそういう見方っていうのを、信頼度とか、はい。の関係から、これから先は見ていくのが、そういう種Cで、
0:28:20	ちょっと、
0:28:22	はい。
0:28:23	聞いてみたらそうすると図8みたいな、何かいっぱい書いてあるけど、
0:28:29	ずっとそもそも線引いちゃいけないんじゃないかみたいな。
0:28:35	あるわけですよ。
0:28:37	図8のこのアベ線です。緑のないみたいなどころはそもそも、こんな世界は表現できない。
0:28:46	拳ノモトでございます。ただ、この後ですねこの地震入力地震動トヨシマでも全然していかない。はい、そうそう。
0:28:57	はい。だから、だから地震観測記録の ΔP が。うん。もう、何がな、なるんですよね。うん。ここは0.05で10Hzなんだけど。はい。
0:29:10	図11の応答スペクトルと、
0:29:14	50Hzに変わってくるんで、こういうところの関係っていうのが、多分最後 Δ っていうに決まってるんじゃないかな。
0:29:22	うん。
0:29:27	六ヶ所側日本原燃八巻社長。
0:29:33	にしまして観測記録が何病気
0:29:40	1秒刻みというところの、
0:29:42	データがえられているという
0:29:44	はい。
0:29:46	はい。どうもありがとう。
0:29:48	はい。
0:29:50	はい。規制庁山崎です今二見さん言われた例えばずっと8はですね今日
0:29:57	加来調査官からも話が出ましたけれども、この外装で、
0:30:01	何だっていうことでこれはヒアリングでも言った話ですよ
0:30:05	今伝達関数場に20通で切れてるのに何でこんなところまで書けるんだみたいな話で、結局、

0:30:12	その物理的科学的に評価できる範囲は日仏なんだけども、次のオートスペクトルを書くためには、周波数での値が必要になってくるという、設計的配慮から外挿してますと、はい。
0:30:28	そうそう、直接そのまま引っ張ってますという判断があるわけだよね。
0:30:32	そこをしっかり説明していただかないとただ概算ですと、何かわかんないねという話。はい、おっしゃる通りです。はい。
0:30:42	そういったところが幾つかありますんですね
0:30:47	今日のヒアリングでも思ったんですけども、やっぱり、
0:30:51	何て言うんですか、田井新屋。
0:30:55	は、それ、
0:30:57	普通じゃないっていう感覚と、やっぱり耐震以外の人って、
0:31:02	何でこうなってんのっていうところがありますんで、当然、
0:31:05	聞いている人っていうのは市以外の人がおるわけな。
0:31:08	そこはしっかりと丁寧に説明を、こういったパワーポイントから含めてですね。はい。していただきたいと思いますので。はい。はい。
0:31:17	お願いします。はい。前のことでございます。はい。わかりやすい資料ということで、はい。心がけて参りたいと思います。
0:31:25	よろしいですか。
0:31:27	はい。はい。規制庁野崎です他に何か
0:31:32	せっかくですね、コメント等あるわけですけど、なければ終わりますが、よろしいでしょうか。
0:31:39	大丈夫です。
0:31:41	はい、ではこれでヒアリングを終了いたします。
0:31:45	お疲れ様でした。